

NACCS業務資料 航空編 【入出港】



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
2022年 3月

入出港手続の概要

- 空港における入出港手続等のSW化の概要 3
- SW化の対象業務 4
- 航空機入出港SW業務フロー（全体概要） 5
- 入出港関連業務 8
- 航空通信の情報による事前報告義務の概要 12
- 航空通信による事前報告義務 13

入出港業務

- GIA01 <検疫前通報> 19
- GIA <検疫前通報呼出し> 21
- CLP01 <乗員上陸許可申請> 22
- CLP <乗員上陸許可申請呼出し> 24
- GIR01 <入港届（入港通報、保険情報）> 25
- GIR <入港届呼出し> 29
- GOR01 <出港届> 30
- GOR <出港届呼出し> 32
- PLR01 <旅客氏名表報告> 33
- PLR <旅客氏名表報告呼出し> 35
- NLR01 <乗組員氏名表報告> 36
- NLR <乗組員氏名表報告呼出し> 38
- PNR01 <旅客予約記録情報報告> 39
- PNR <旅客予約記録情報報告呼出し> 41
- 旅客（又は乗組員）氏名表控情報等の配信 42
- 空港施設区分コード表 43
- 乗組員職名コード表 44
- 提出情報に変更が生じた場合の変更手順 45
- KPC01 <船舶・航空機資格変更届> 47

- IGD <入出港等情報照会> 48
- IGA <検疫前通報情報照会> 51
- ICL <乗員上陸許可申請情報照会> 52

航空通信エラーの確認方法

- 航空通信エラーの確認方法 54

EXC型宛先管理登録について

- EXC型宛先管理登録について 59

航空情報通信網の情報利用事前報告申出書の提出書類 入出港関係手続における業務権限について

- 航空通信利用による事前報告（代行手続）申出書 61
- 航空通信情報利用による旅客予約記録申出書 62
- NSSによる機長代行登録について 63
- 入出港関係手続における業務権限について 64

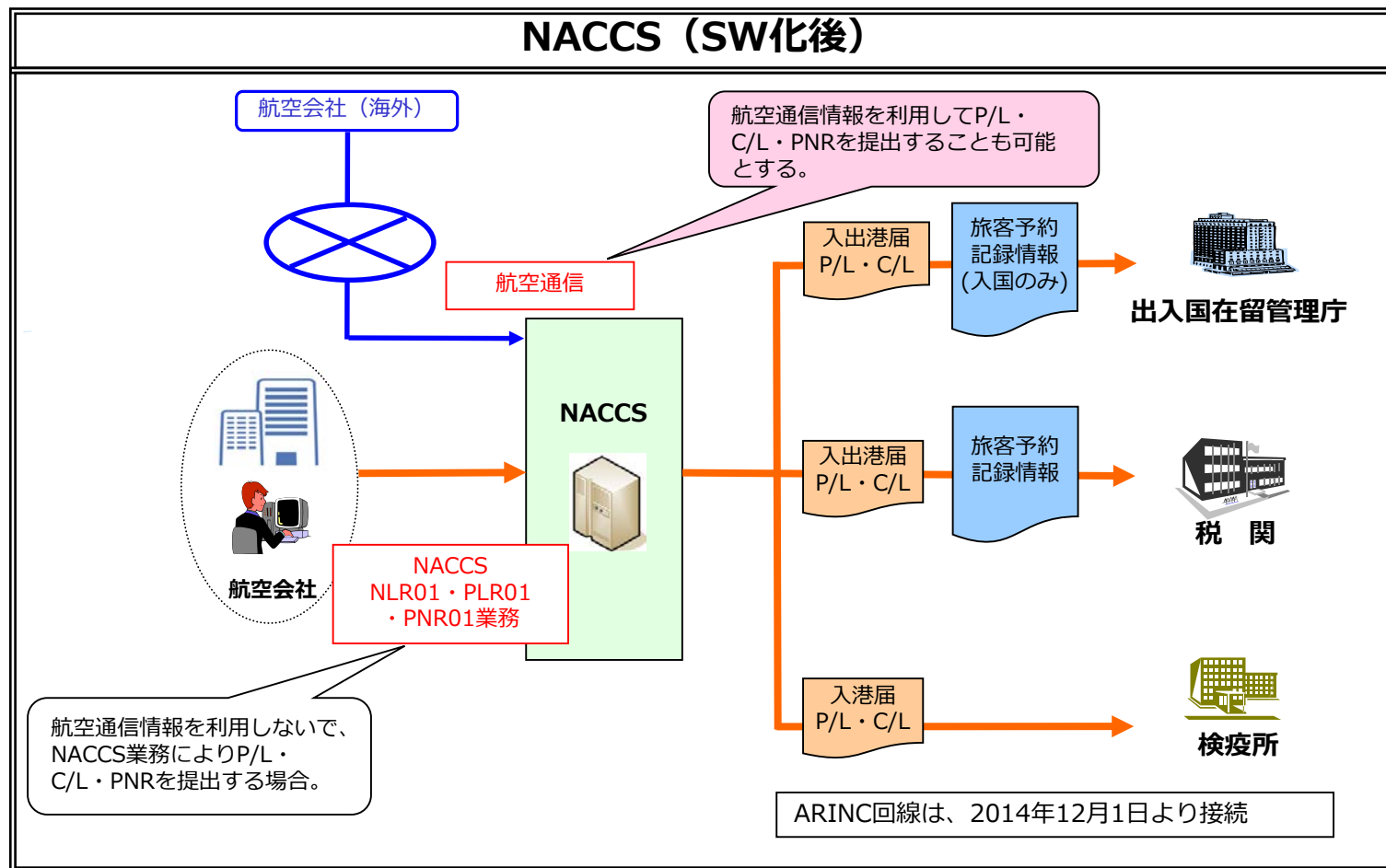
制度変更に伴い、
新設業務や変更点あり

入出港手続の概要

空港における入出港手続等のSW化の概要

財務省税関、法務省出入国在留管理庁、厚生労働省検疫所（CIQ）に対して提出する入港届(申告書)、出港届、乗組員・旅客氏名表
財務省税関、法務省出入国在留管理庁に対して報告する旅客予約記録情報
について電子的に送信できます。

1 回の入力・送信で関係省庁への提出を可能とするシングルウィンドウ（SW）化を実現しています。



航空通信とは、下記の二社の回線を言います。

- ・ SITA (Societe Internationale de Telecommunications Aeronautiques)
- ・ ARINC(Aeronautical Radio Inc)

- ・ P/L (Passenger List) : 旅客氏名表
- ・ C/L (Crew List) : 乗組員氏名表
- ・ PNR (Passenger Name Record) : 旅客予約記録情報

SW化の対象とする空港関連手続は下表の通りです。なお、表中の網掛け箇所はSW対象業務ではないが、電子化対応業務です。

官庁	手 続 き	根 拠	NACCS業務	備 考
出入国在留管理庁	入港通報	出入国管理及び難民認定法第56条 同法施行規則51条	乗組員／又は旅客氏名表報告業務から自動生成	
	入国時の乗客に係る事項の報告	同法57条第1項	旅客氏名表報告業務（PLR01）	航空通信可 ※PNR01はARINCのみ対応
	入国時の乗員に係る事項の報告	同法57条第1項	乗組員氏名表報告業務（NLR01）	
	入国時の乗客に係る予約情報の報告	同法第57条第8項	旅客予約記録情報報告（PNR01）	
	数次乗員上陸許可を受けている乗員が乗り込んでいるときの報告	同法第57条第4項	乗員上陸許可申請(CLP01)	
	乗員上陸許可申請	同法第16条第1項、第2項		
	乗員の入港形態に係る報告	同法第56条		
	入港届	同法56条 同法施行規則第51条	入港届業務（GIR01）	
	出国時の乗員に係る事項の報告	同法57条第2項	乗組員氏名表報告業務（NLR01）	航空通信可
	乗員の出港形態に係る報告	同法56条		
	出国時の乗客に係る事項の報告	同法57条第2項	旅客氏名表報告業務（PLR01）	航空通信可 入国審査官要求時
	出港届	同法56条 同法施行規則第51条	出港届業務（GOR01）	
税関	入港届	関税法15条 同法施行令第13条	入港届業務（GIR01）	
	旅客に関する事項の報告（入国）	同法15条 同法施行令第13条第2項、第3項	旅客氏名表報告業務（PLR01）	航空通信可 ※PNR01はARINCのみ対応
	乗組員に関する事項の報告（入国）	同法15条 同法施行令第13条第2項、第3項	乗組員氏名表報告業務（NLR01）	
	旅客の予約情報に関する事項の報告（入出国）	同法15条 第13項、同法15条の3第4項	旅客予約記録情報報告（PNR01）	
	出港届	同法17条 同法施行令第16条	出港届業務（GOR01）	
	旅客に関する事項の報告（出国）	同法17条 同法施行令第16条第2項	旅客氏名表報告業務（PLR01）	航空通信可
	乗組員に関する事項の報告（出国）	同法17条 同法施行令第16条第2項	乗組員氏名表報告業務（NLR01）	
検疫所	検疫前通報	検疫法6条	入港前事前通報(GIA01)	届出後の取消も可
	入港届（明告書）	同法11条	入港届業務（GIR01）	
	乗客名簿提出（入国）	同法11条	旅客氏名表報告業務（PLR01）	航空通信可
	乗組員名簿提出（入国）	同法11条	乗組員氏名表報告業務（NLR01）	
	検疫済（仮検疫済）証	同法17条、18条	検疫済証発行	訂正・取消しも可

航空機入出港SW業務フロー(全体概要①)

外国空港
出発予定時間の72時間前

離陸直後

入港

航空会社

税関

出入国在留
管理庁

検疫

航空通信で
対応可
(PNR01はARINC
のみ対応)

旅客予約記録情報
報告
PNR01

変更・訂正時

旅客予約記録情
報報告呼出し
PNR

旅客予約記録情
報報告
PNR01

航空通信での提出時
もNACCS業務で
呼出し・訂正が可能

旅客の
予約情報

航空通信で
対応可

旅客予約記録
情報報告
PNR01

変更・訂正等

旅客予約記録情
報報告呼出し
PNR

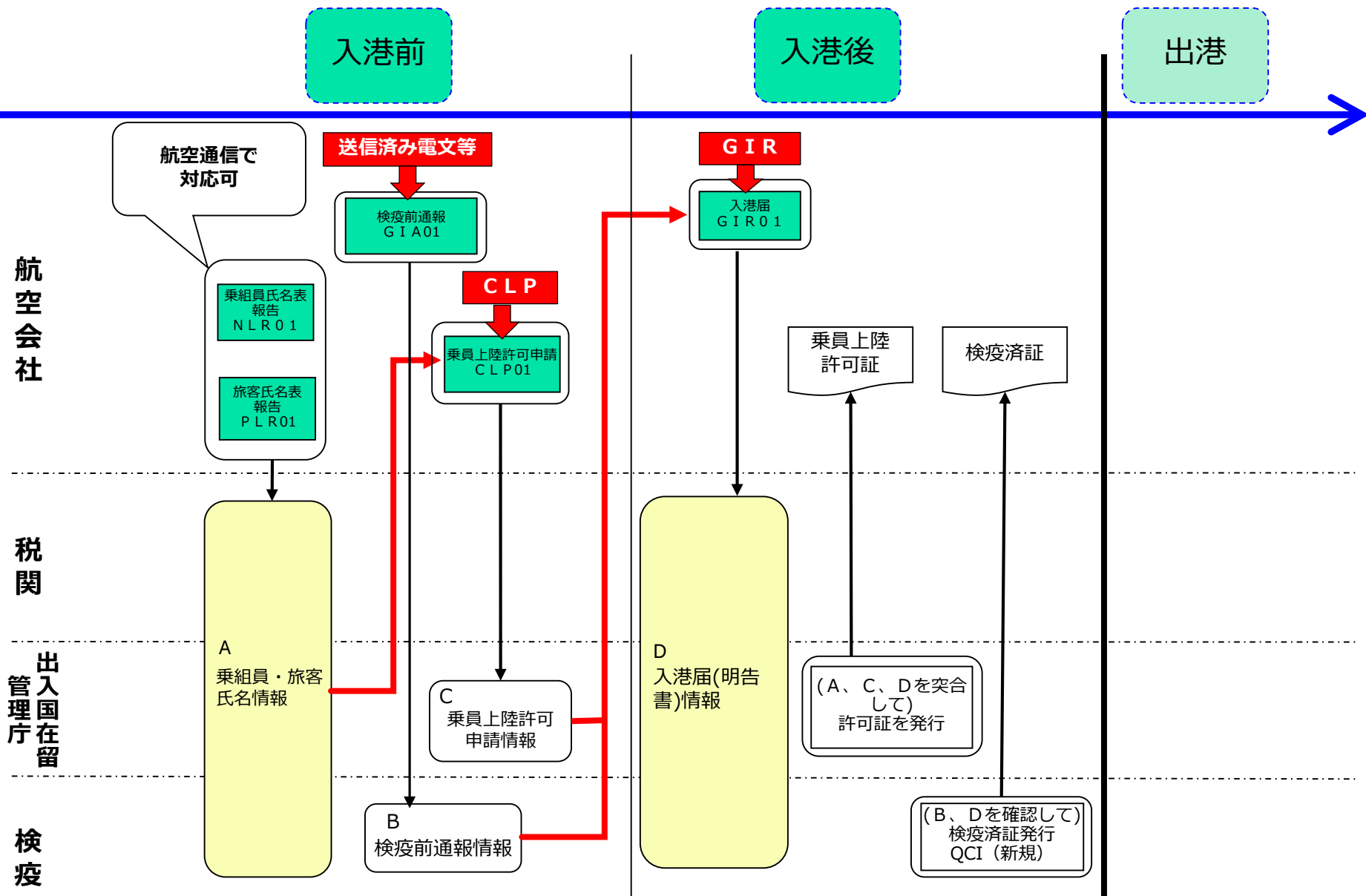
旅客予約記録情
報報告
PNR01

航空通信での提出時
もNACCS業務で
呼出し・訂正が可能

旅客の
予約情報

※ 報告のタイミングは「外国空港出発予定時間の72時間前」と「離陸直後」の2回です。

航空機入出港SW業務フロー(全体概要②)



※ →矢印は、上流業務で登録された情報のうち共通する項目の情報呼び出しが可能です。(航空通信情報利用申出等で登録済みの委託者を含む)

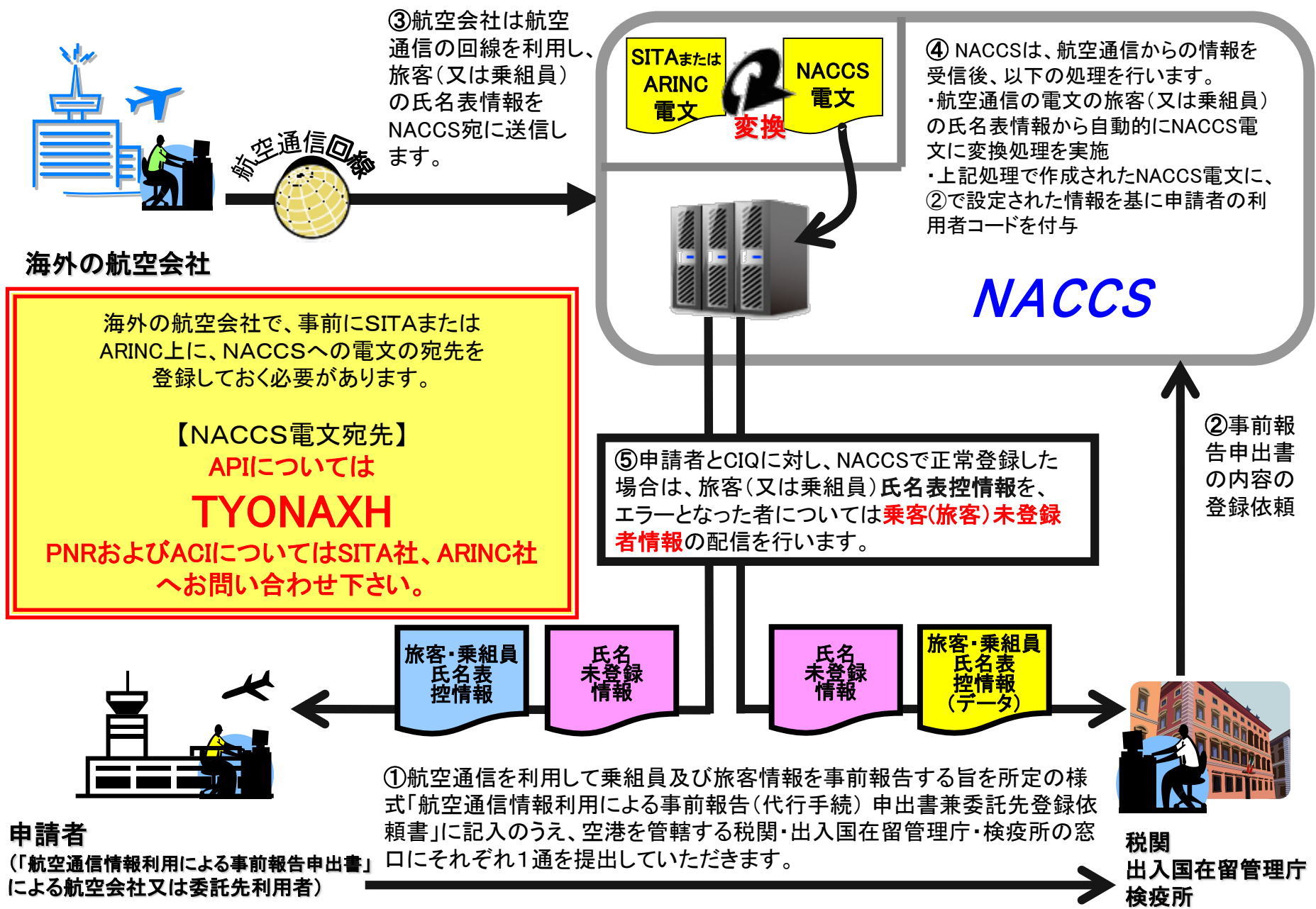
業務コード	業務名	業務の概要	備考
PLR01	旅客氏名表報告	空港入港時に、運航便名、他国からの最終出発空港及び提出先空港単位に旅客情報を登録し、旅客氏名表の報告を出入国在留管理庁、税関、検疫所に行う。 また、空港出港時に、運航便名、提出先空港及び最初の到着地空港単位に旅客情報を登録し、旅客氏名表の報告を行うことも可能とする。本業務により旅客情報の変更及び取消しを可能とする。	航空通信の情報を利用して提出することも可能です。 送信後、正常終了した場合は「旅客氏名表控情報」が配信されます。
PLR	旅客氏名表報告呼出し	PLR01で入力を行った旅客氏名表の呼び出しを行う。呼び出した情報は、変更・取消に利用することができる。	航空通信の情報を利用して提出した旅客氏名表についても呼び出し可能です。
NLR01	乗組員氏名表報告	空港入港時に、運航便名、他国からの最終出発空港及び提出先空港単位に乗組員情報を登録し、乗組員氏名表の報告を出入国在留管理庁、税関、検疫所に行う。 また、空港出港時に、運航便名、提出先空港及び最初の到着地空港単位に乗組員情報を登録し、乗組員氏名表の報告を行うことも可能とする。本業務により乗組員情報の変更及び取消しを可能とする。	航空通信の情報を利用して提出することも可能です。 送信後、正常終了した場合は「乗組員氏名表控情報」が配信されます。
NLR	乗組員氏名表報告呼出し	NLR01で入力を行った乗組員氏名表の呼び出しを行う。呼び出した情報は、変更・取消に利用することができる。	航空通信の情報を利用して提出した乗組員氏名表についても呼び出し可能です。

業務コード	業務名	業務の概要	備 考
GIA01	検疫前通報	航空会社が空港到着前に、到着便名及び到着空港に係る検疫前通報情報をシステムに登録し、検疫所に対し検疫前通報を行う。 また、本業務により通報内容の変更・取消しを可能とする。	・送信後、「COMPLETION」が表示されれば提出は正常に行われたこととなります。 ・変更・取消の場合、検疫所にのみ帳票を配信されます。
GIA	検疫前通報呼出し	GIA01で入力を行った検疫前通報の呼び出しを行う。呼び出した情報は、変更・取消し入力に利用することができる。	
CLP01	乗員上陸許可申請	航空会社が空港到着前に、到着便名及び到着空港に係る乗員上陸許可申請情報をシステムに登録し、出入国在留管理庁に対し乗員上陸許可申請を行う。また、本業務により許可申請を行った内容の変更を可能とする。	・送信後、「COMPLETION」が表示されれば提出は正常に行われたこととなります。 ・出入国在留管理庁では申請を受け、乗員上陸許可証を作成し、窓口で交付します。
CLP	乗員上陸許可申請呼出し	CLP01で入力を行った乗員上陸許可申請の呼び出しを行う。 呼び出した情報は、変更入力に利用することができる。また、乗組員氏名表報告（NLR01）の情報を呼び出すことも可能であり、当該情報を利用して乗員上陸許可申請を行うことができる。	
GIR01	入港届	航空会社が当該空港到着後、到着便名及び到着空港に係る入港届情報をシステムに登録し、出入国在留管理庁、税関、検疫所に対し入港届（明告書）の提出を行う。 また、本業務により入港届の変更及び取消しを可能とする。 なお、税関空港以外の空港（不開港）の場合、税関に対する入港届については、汎用申請業務を利用して行うことができる（税関以外は本業務の利用可）。	・送信後、「COMPLETION」が表示されれば提出は正常に行われたこととなります。 ・GIR01を利用して明告書が検疫所に提出された場合、検疫所から検疫済証等（取消含む）がシステムにより発行される。

業務コード	業務名	業務の概要	備 考
GIR	入港届呼出し	GIR01で入力を行った入港届の呼び出しを行う。呼び出した情報は、変更・取消に利用することができる。また、事前に行った検疫前通報（GIA01）又は乗員上陸許可申請（CLP01）の情報を呼び出すことも可能であり、当該情報を利用して入港届の提出を行うことができる。	
GOR01	出港届	航空会社が空港出発前に、出発便名及び出発空港に係る出港届情報をシステムに登録し、出入国在留管理庁、税関に対し出港届の提出を行う。 また、本業務により出港届の変更及び取消しを可能とする。	・送信後、「COMPLETION」が表示されれば届出は正常に行われたこととなります。 ・税関に対する出港届は、即時許可又は許可保留のいずれかとなりますが、許可保留の場合は税関による解除が必要です。
GOR	出港届呼出し	GOR01で入力を行った出港届の呼び出しを行う。呼び出した情報は、訂正・取消に利用することができる。	
PNR01	旅客予約記録情報報告	便名及び届出空港に係る旅客予約記録情報の登録、変更及び取消しを行う。	航空通信の情報を利用して提出することも可能です。送信後、正常終了した場合は「 旅客予約記録情報 」が配信されます。
PNR	旅客予約記録情報報告呼出し	便名及び届出空港に係る旅客予約記録情報の変更を行う場合に、旅客予約記録情報を呼び出す。	

業務コード	業務名	業務の概要	備考
IGD	入出港届等情報照会	便名を入力することにより、入港届情報、出港届情報、入出港における乗組員情報及び旅客情報を照会する。 また、航空機登録記号を入力することにより、入港届情報または出港届情報を照会することも可能とする。	
IGA	検疫前通報情報照会	到着便名及び到着空港を入力することにより、検疫前通報情報を照会する。	
ICL	乗員上陸許可申請情報照会	到着便名および到着空港を入力することにより、乗員上陸許可申請情報を照会する。	
IPN	旅客予約記録情報照会	便名及び届出空港に係る旅客予約記録情報の照会する。	

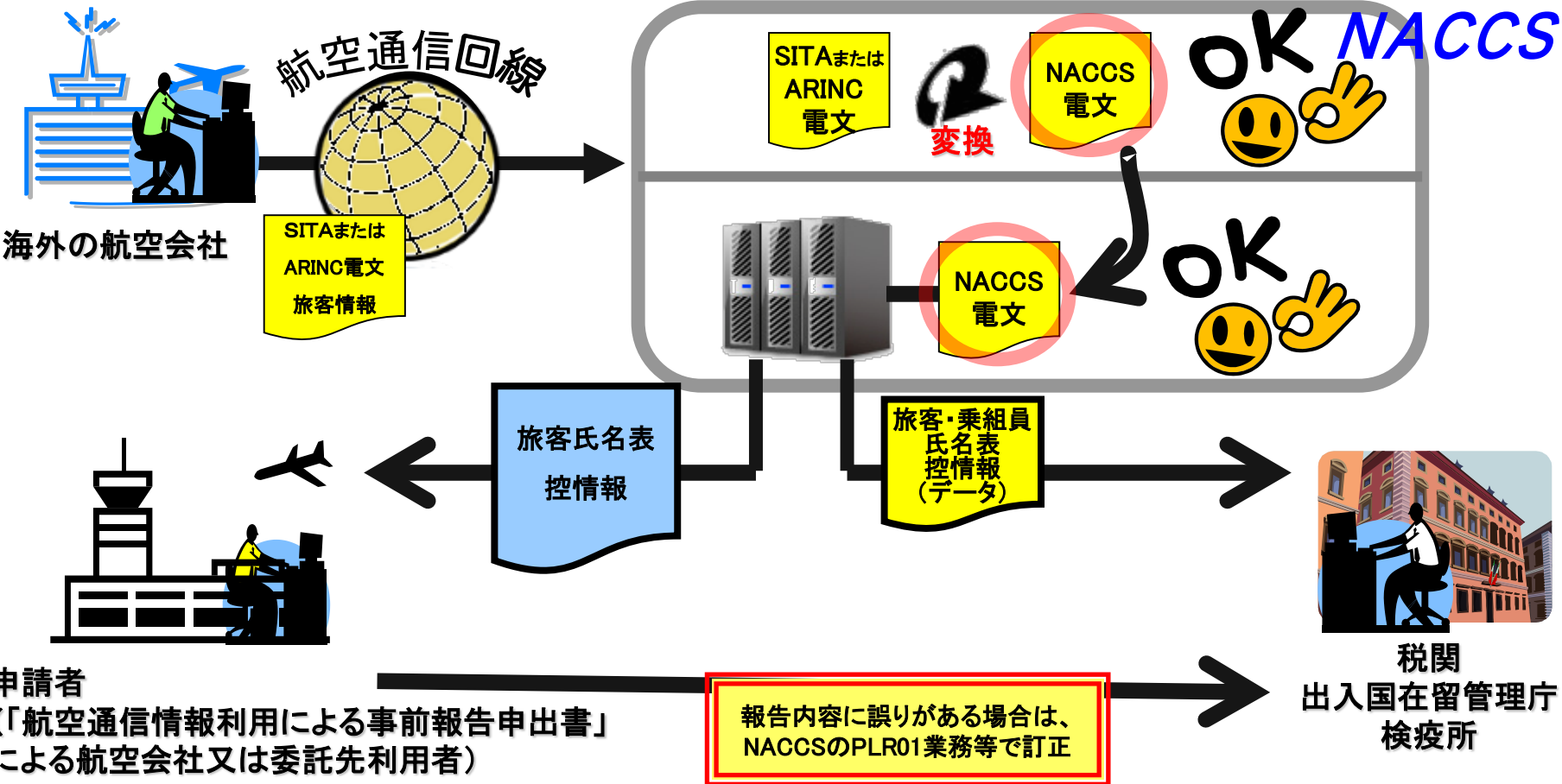
航空通信の情報による事前報告業務の概要



正常処理の場合

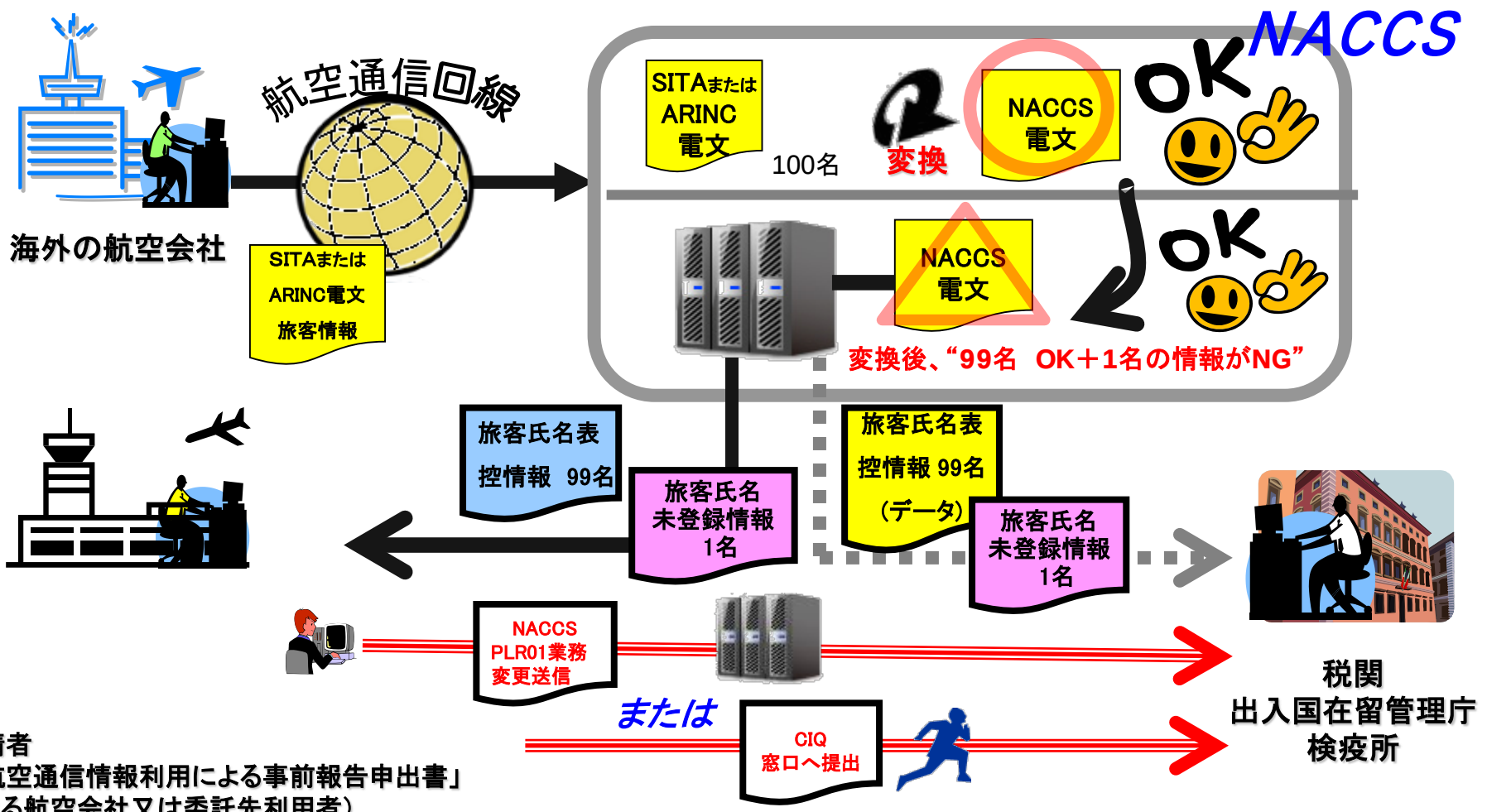
旅客氏名表控情報が申請者に配信された場合は、航空通信の電文を利用して正常に関係官庁に対する提出が行われたこととなります。

ただし、正常処理は行われたが、配信されたりストの一部に誤りがあり(例えば、旅客氏名に誤りがあったような場合)、訂正が必要となるケースの場合は、PLR(旅客氏名表報告呼出し)業務を利用して旅客氏名表情報の呼び出しを行い、呼び出した情報に必要な訂正を行ったうえで、利用者側はPLR01(旅客氏名表報告)業務により再度報告を行います。



✉ 変換後のNACCS電文のうち、一部の情報でエラーがある場合

海外の航空会社から送られてきた航空通信の電文(P/L情報)をNACCS電文への変換処理は正常に行われましたが、変換後のNACCS電文のうち一部の情報にエラー(例えば、100名のうち99名はOKであったが、うち1名の生年月日が正しくない)がある場合は、利用者に対して、旅客氏名表控情報と共に旅客氏名表未登録者情報を配信します。旅客氏名表未登録情報を受信した場合は、利用者側はPLR01(旅客氏名表報告)業務により再度報告を行っていただくか、CIQ窓口への提出により旅客氏名表の提出を行っていただきます。

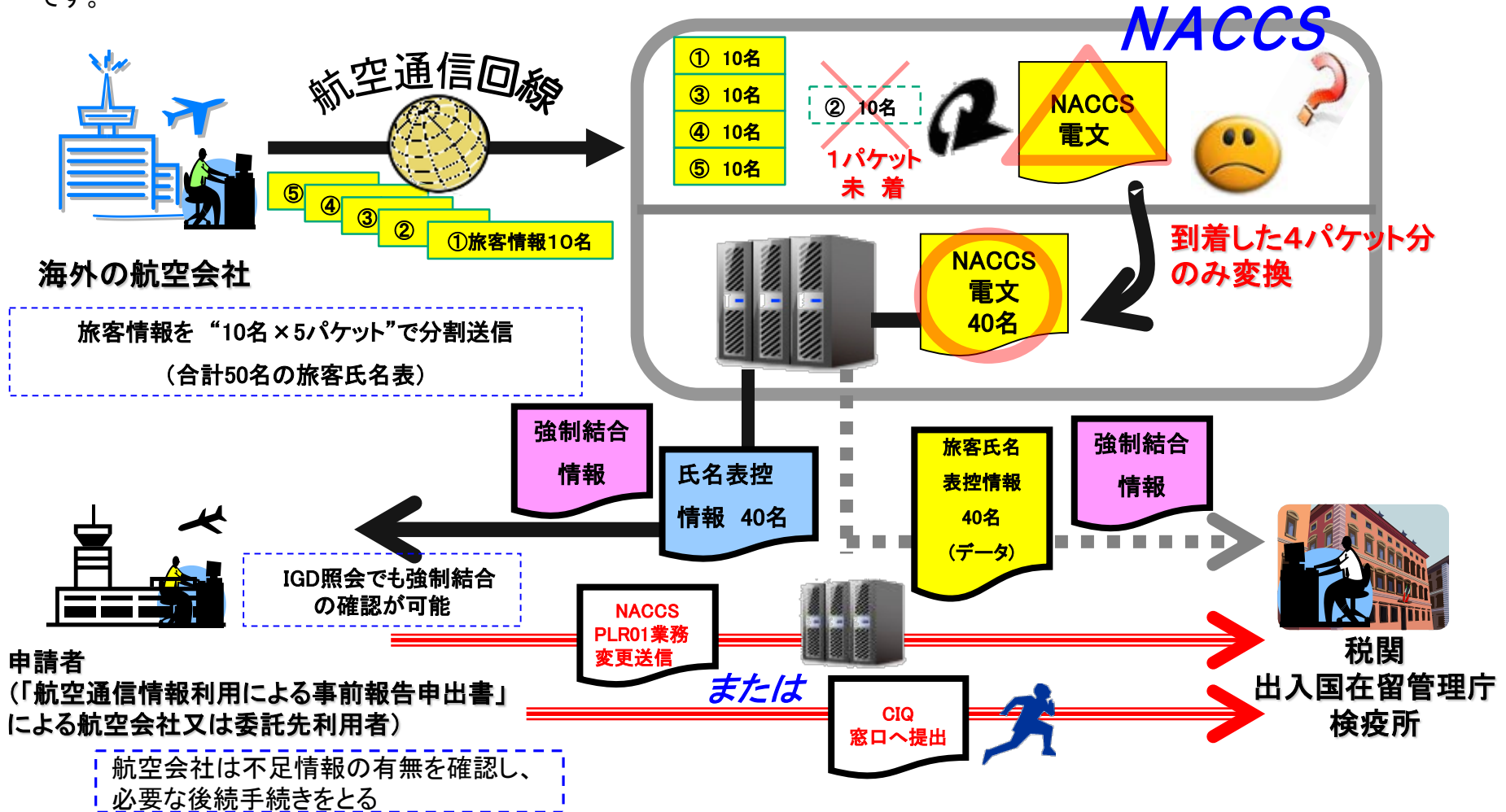


航空通信による事前報告業務(3/5)



変換後のNACCS電文のうち、強制結合した場合

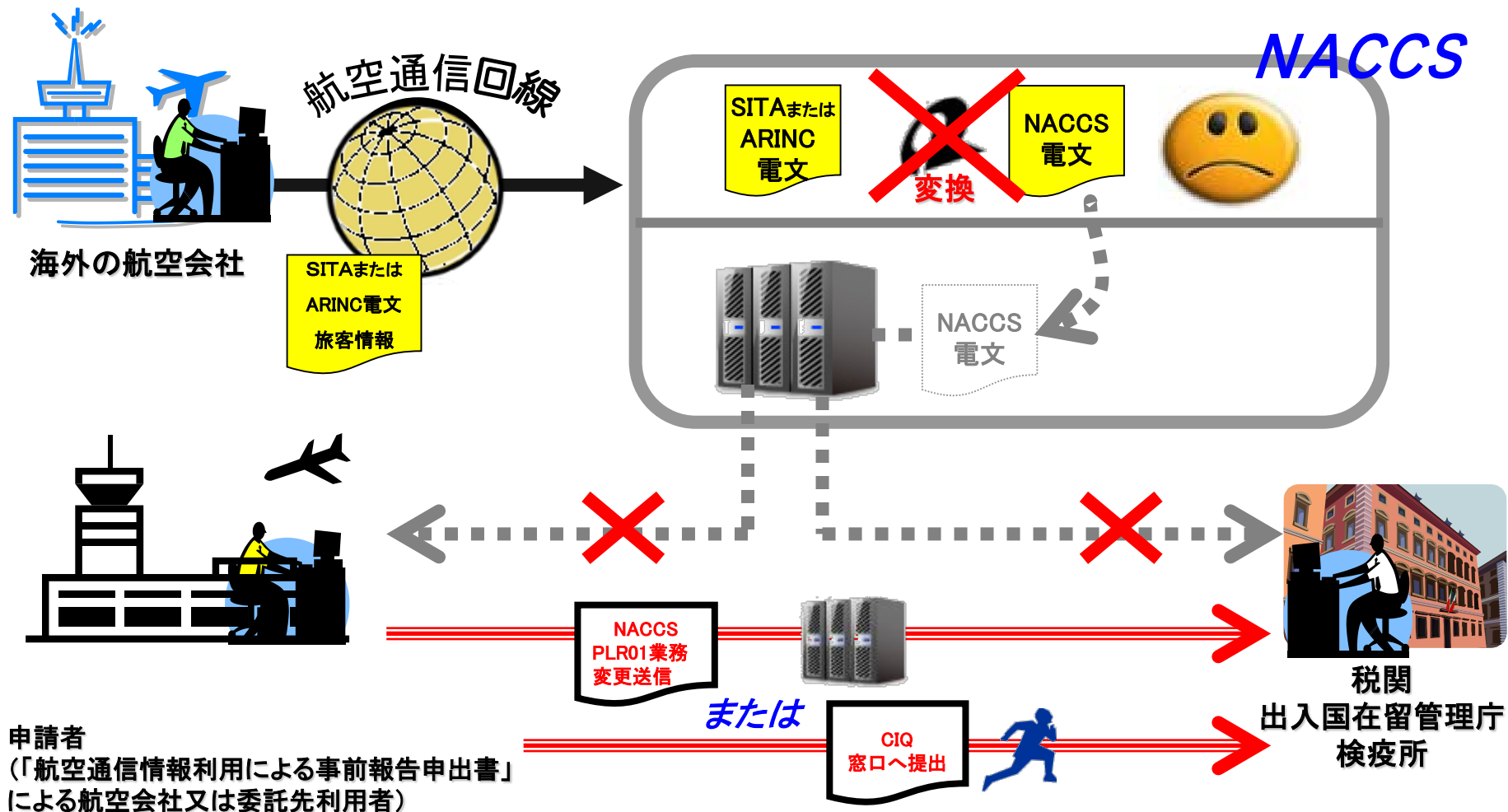
海外の航空会社からの航空通信の電文は複数のパケットに分割し送信されます。NACCS電文への変換処理時、最初のパケット受信から一定時間経過後、全てのパケットが受信できなかった場合、その時点までに受信したパケットのみで情報を結合し処理します。受信パケットからの氏名表と共に、強制結合した電文であることが把握できるよう「氏名表強制結合情報」を配信します。利用者側は不足の情報に対し、PLR01業務により再度報告を行っていただくか、CIQ窓口への提出にて追加・訂正をする対応が必要です。



航空通信による事前報告業務(4/5)

✉ 航空通信からNACCS電文への変換時にエラーとなった場合

海外の航空会社から送られてきた航空通信の電文(P/L情報)をNACCS電文に変換する過程でエラーとなった場合は、利用者の特定が不可能なため、対象となる利用者(航空会社または機長代行者)に対してエラー通知等を配信することが出来ません。この場合、利用者側はPLR01業務を利用して再度行っていただくか、CIQ窓口への提出により旅客氏名表の提出を行うことが必要となります。



航空通信⇒NACCS電文変換時にエラーとなるケースは、通常、想定されませんが、NACCSで変換不可能な航空通信情報が送信されて来た場合には発生する可能性があります。このような事例が生じた場合は、航空通信情報の内容を確認のうえNACCSで受信(変換)可能となるように航空通信情報の修正を行っていただく必要があります。

なお、NACCSで変換可能となる航空通信情報は、以下のいずれかのEDIFACT標準メッセージに従っていることが必須です。当該標準メッセージに違反する航空通信情報が送信されて来た場合は、NACCS電文への変換処理においてエラーが発生します。詳細につきましてはEDI仕様書を参照ください。

【EDIFACT電文関係】付録14 EDIFACT電文関連 https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/system/edi-shiyou_6nac/#tbl4
※各業務のマッピングについては業務仕様書から参照ください。

【標準メッセージ1 : UN-EDIFACT】

APIS-U.S.Manifest/MCL(PAXLST) Message Implementation Guideline for Airlines
UN/EDIFACT Message Set

August17,2005

Document Number:2099001-UN-IMPLEMENTATION-GUIDE-1.02

【標準メッセージ2 : US-EDIFACT】

API FOR Airlines

Project Number:9201

Document Number:OIT-SDD-ESB-TECS-
EDIFACT_AIR

Revision Number&Date:Version 1.3 January31,2002

入出港業務

航空会社が空港到着前に、到着便及び到着空港に係る検疫前通報情報をシステムに登録し、検疫所に対し検疫前通報の提出を行います。また、本業務により通報内容の変更を行う事も可能です。

GIA01入力画面

処理区分* **R**

所有者又は運航者 ☐ 航空機登録記号 国籍

航空会社名称

到着便名* **OA1513 / 01NOV**

共同運航到着便名 / / /

出発前寄港 寄港 出発年月日・時刻 / / - :

↓

出発空港 出発年月日・時刻 / / - :

↓

到着空港* 到着年月日・時刻 / / - :

R:登録
C:変更
X:取消し

所有者又は運航者
航空会社コード2桁を入力

到着便名(便名部/日付部)

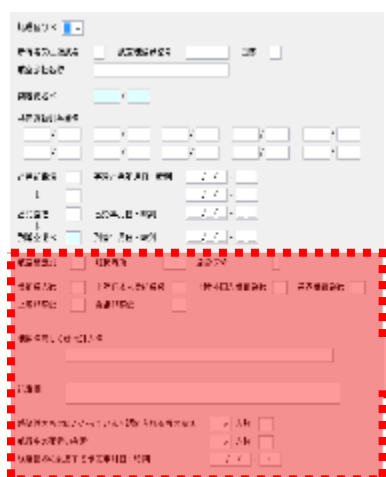
航空会社コード+フライトナンバーを入力
※フライト・ナンバーの入力では**3桁**又は**4桁**の入力が可能。4桁目には英数字の入力が可能で、それ以外は数字のみ可

【入力例】
OA1513便 → OA1513
11月1日 → 01NOV

到着空港
IATA空港コードを入力

出発前空港・出発空港

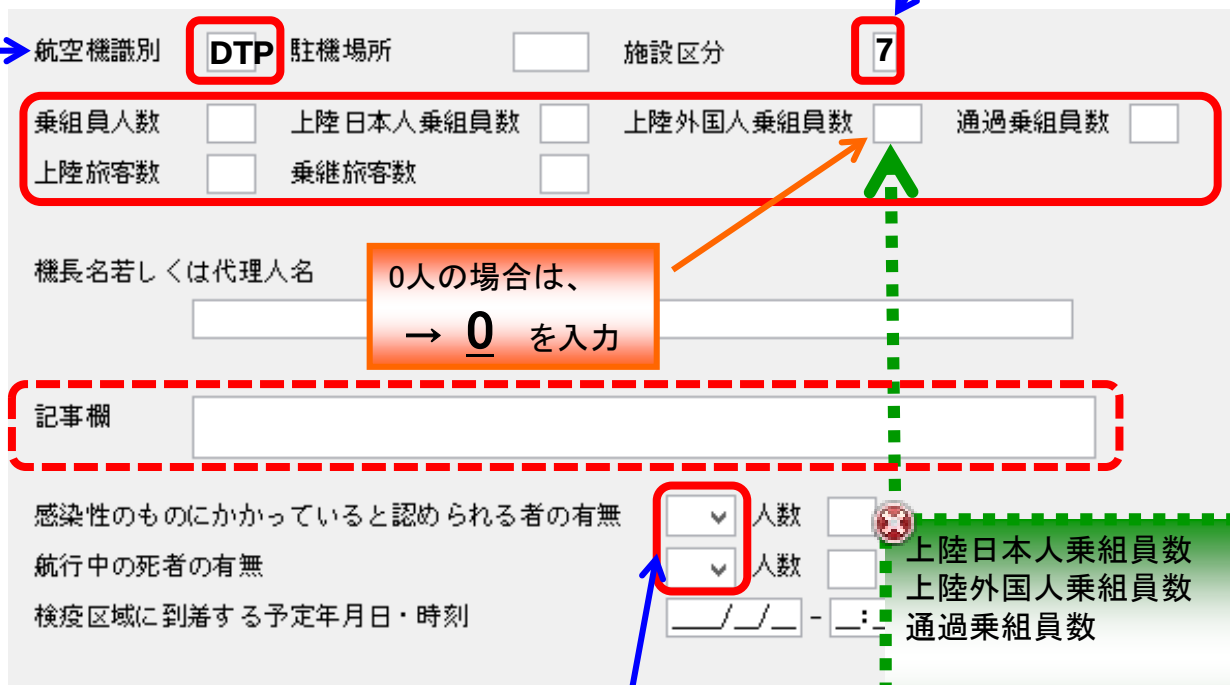
IATA空港コード及びIATA都市コードを入力
【入力例】
ニューヨーク→NYC (都市コード)
仁川国際空港 → ICN



GIA01入力画面

Attention !
第6次NACCSから記事欄の入力が日本語70文字、
半角英数字140桁まで入力可能です。

施設区分コード表
を参照



 **航空機識別**

到着便の種別を入力

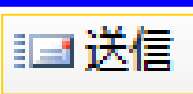
1桁目 D:直入機 N:寄入機
2桁目 T:外国貿易機 S:特殊機
3桁目 P:旅客機 F:貨物機
O:公用機 K:個人機
S:その他

※2桁目が "T、" の場合は3桁目
は "P、" または "F、" のみ入力可

0:無
1:有

上陸日本人乗組員数
上陸外国人乗組員数
通過乗組員数

不明の場合は、
→ **入力不要**



"COMPLETION、" で正常処理完了です。

GIA01で入力を行った検疫前通報の呼び出しを行います。呼び出した情報は、変更入力に利用できます。



便名部	日付部
【入力例】OA1513便 → OA1513	【入力例】11月1日 → 01NOV
到着便名* OA1513 / 01NOV	
到着空港	

GIA入力画面



送信

呼び出した情報を「検疫前通報(GIA01)」に反映します。

[illegible]

 **到着空港**
変更の場合→ **変更不可**

数次乗員上陸の許可番号を入力

22



CLP01入力画面

取消
不要な乗組員を削除する場合は、「X(エックス)」を入力



- 申請種別**
- 一括申請種別に入力が無い場合に入力
- 0: スルー
(国籍が日本の場合に選択、又は「スペース」)
 - 1: 単一港近傍
 - 2: 複数港近傍
 - 3: 同一港乗換
 - 4: 他港乗換
 - 5: 数次乗員上陸許可者
 - 6: 一般上陸

上陸港・期間

【上陸港】IATA空港コード
申請種別が「複数港近傍」の場合、繰返しの1回目(到着空港と同一)と2回目は必須入力

乗換種別

申請種別が「同一港乗換」「他港乗換」の場合、必須入力

- 1: CREW-CREW
- 2: CREW-PAX
- 3: PAX-CREW

出入国在留管理庁では申請を受けて**乗員上陸許可証**を作成し、窓口で交付します。



 **送信**

"COMPLETION、 で正常処理完了です。

CLP01で入力を行った乗員上陸許可申請の呼び出しを行います。呼び出した情報は、変更入力に利用できます。
また乗組員氏名表報告(NLR01)の情報を呼び出し、当該情報を利用して乗員上陸許可申請を行うことができます。



呼出し区分

スペース: 乗員上陸許可申請DBから呼出す場合

C : 乗組員・旅客情報DBから呼出す場合

呼出し区分 ▼

入出港区分 ▼

便名 * OA1513 / 01NOV

他国からの最終出発空港

最初の到着地空港

便名部 (前6桁)

【入力例】OA1513便
→ OA1513

日付部 (後5桁)

【入力例】11月1日
→ 01NOV

CLP入力画面

カチ



送信

呼び出した情報を「乗員上陸許可申請(CL P01)」に反映します。

航空会社が空港到着後、到着便及び到着空港に係る入港届情報をシステムに登録し、出入国在留管理庁・税関・検疫所に対し入港届(明告書)の提出を行います。また、本業務により入港届の変更及び取消を行う事も可能です。



GIR01入力画面



到着便名(便名部/日付部)
航空会社コード+フライトナンバーを入力
※フライト・ナンバーの入力では**3桁**又は**4桁**の入力が可能。4桁目には英数字の入力が可能で、それ以外は数字のみ可

【入力例】
OA1513便 → OA1513
11月1日 → 01NOV

到着空港
変更の場合 → **変更不可**



GIR01入力画面

航空機識別 DTP	駐機場所	施設区分	
乗組員人数	上陸日本人乗組員数	上陸外国人乗組員数	通過乗組員数
	上陸旅客数	乗継旅客数	
機長名若しくは代理人名			
記事欄			

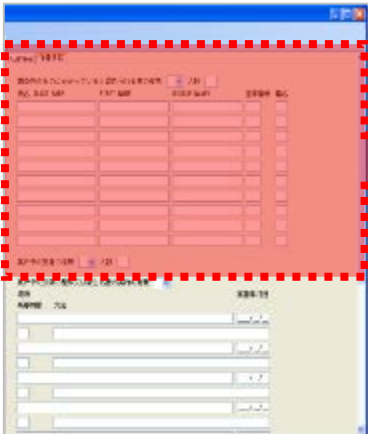
0人の場合は、
→ 0 を入力

上陸日本人乗組員数
上陸外国人乗組員数
通過乗組員数

不明の場合は、
→ **入力不要**

航空機識別 

到着便の種別を入力
1桁目 D:直入機 N:寄入機
2桁目 T:外国貿易機 S:特殊機
3桁目 P:旅客機 F:貨物機 O:公用機 K:個人機 S:その他
※2桁目が "T、" の場合は3桁目は "P、" または "F、" のみ入力可



GIR01入力画面

入港情報 **保健情報**

感染性のものにかかっていると認められる者の有無 ☐ 人数 **1**

氏名 (LAST NAME	FIRST NAME	MIDDLE NAME)	座席番号	職名
ICHIROU	TOYAMA	DANIEL	69C	

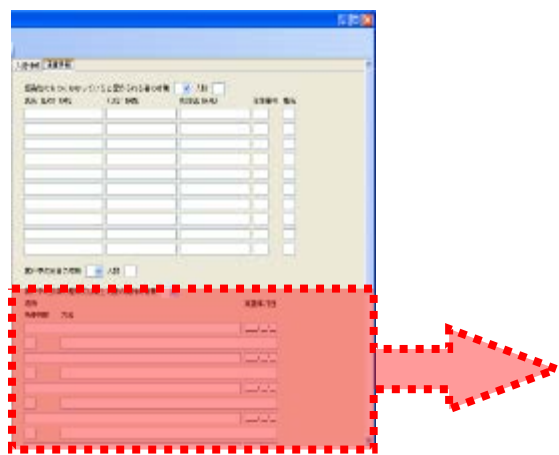
感染性のものにかかっていると認められる者の有無で「有」にした場合、
必須入力となります。
入力例: 1名あり 座席番号69Cの旅客に関する届出情報

職 名
乗組員の場合は**職名コード**を入力。
P44 乗組員職名コード表を参照

航行中の死者の有無 ☐ 人数 ☐

いずれかを選択し、必須入力
0: 無(検疫所へ提出を行わない場合を含む)
1: 有

いずれかを選択し、必須入力
0: 無(検疫所へ提出を行わない場合を含む)
1: 有 → 次欄へ人数を必須入力



GIR01入力画面

いずれかを選択し、必須入力
0: 無(検疫所へ提出を行わない場合を含む)
1: 有 → 次欄以降を必須入力

航行中の虫類の駆除又は衛生処置の実施の有無 ☐

場所 実施年月日

所要時間 方法

場所を入力

方法を入力

所要時間

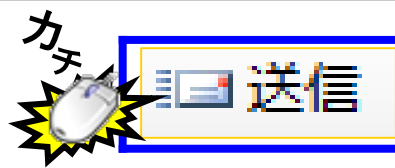
・駆除又は衛生処置の実施の所要時間を入力(入力分単位)

実施状況は、5回まで登録可能

関係者乗組員氏名 (LAST NAME FIRST NAME MIDDLE NAME)

処置実施にかかる報告者の氏名を入力

GIR01を利用して明告書が提出された場合には、検疫所から **検疫済証・仮検疫済証** が、システムにより発行されます。



“COMPLETION” で正常処理完了です。

GIR01で入力を行った入港届の呼び出しを行います。呼び出した情報は、変更・取消に利用する事ができます。また、事前に行った検疫前通報(GIA01)又は乗員上陸許可申請(CLP01)の情報を呼び出し、当該情報を利用して入港届を行うこともできます。



呼出し区分

スペース: 入港情報DBから呼び出す場合

A : 変更: 検疫前通報DBから呼び出す場合

B : 乗員上陸許可申請DBから呼び出す場合

便名部
【入力例】OA1513便
→ OA1513

日付部
【入力例】11月1日
→ 01NOV

呼出し区分

到着便名* /

到着空港

GIR入力画面



呼び出した情報を「入港届(GIR01)」に反映します。

航空会社が空港出発前に、出発便及び出発空港に係る出港届情報をシステムに登録し、入国管理庁・税関に対し、出港届の提出を行います。また、本業務により出港届の変更及び取消を行う事も可能です。

GOR01入力画面

所有者又は運航者
航空会社コード2桁を入力

処理区分*

☐ 税関提出無 ☐ 入国管理局提出無

所有者又は運航者
航空会社名称

航空機登録記号

国籍

税関出力要表示

R:登録
C:変更
X:取消

出発便名*

共同運航出発便名

出発年月日・時刻

出発空港*

↓

到着空港

↓

到着後寄港

出発空港・到着空港・到着後寄港
IATA空港コード及びIATA都市コードを入力

【入力例】
新東京国際空港(成田)→NRT 仁川国際空港 →**ICN**
ニューヨーク→**NYC**(都市コード)
※到着後寄港は該当する場合のみ入力

出発便名(便名部/日付部)

航空会社コード+フライトナンバー
を入力
※フライト・ナンバーの入力では**3桁**又は**4桁**の
入力が可能。4桁目には英数字の入力が可能で、
それ以外は数字のみ可

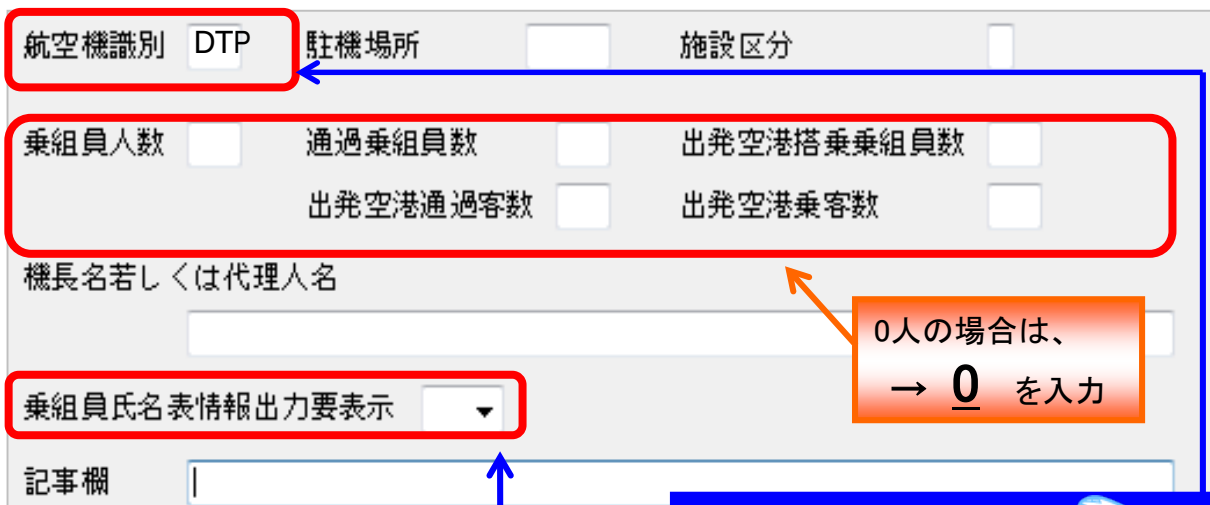
【入力例】
OA1513便 → **OA1513**
11月1日 → **01NOV**

税関出力要表示

スペース:税関出力なし
Y:税関出力あり
許可後訂正の場合は
入力不要



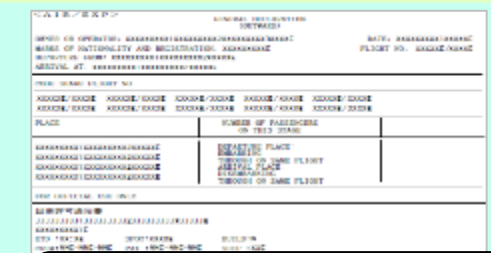
GOR01入力画面



0人の場合は、
→ **0** を入力

税関に対する出港届は、即時許可又は許可保留のいずれかとなり、許可保留の場合は税関による解除入力が必要です。

許可保留の場合、**出港届審査確認情報**がシステムにより出力されます。



平成23年6月のリリースで氏名表出力を含め、様式が変わりました。

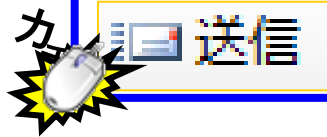
乗組員氏名表出力要表示
Y : 出港許可通知情報に乗組員氏名情報を出力する
スペース : 出港許可通知情報に乗組員氏名情報を出力しない

航空機識別

到着便の種別を入力
1桁目 D: 直入機 N: 寄入機
2桁目 T: 外国貿易機 S: 特殊機
3桁目 P: 旅客機 F: 貨物機
O: 公用機 K: 個人機
S: その他

※2桁目が "T" の場合は3桁目は "P" または "F" のみ入力可

【入力例】
直入機、外国貿易機、旅客機 → **DTP**



"COMPLETION" で正常処理完了です。

GOR01で入力を行った出港届の呼び出しを行います。呼び出した情報は、変更・取消に利用する事ができます。



便名部
【入力例】OA1513便
→ **OA1513**

日付部
【入力例】11月1日
→ **01NOV**

出発便名* **OA1513 / 01NOV**

出発空港

GOR入力画面

出発空港
IATA空港コードを
入力します

カチ

 **送信**

呼び出した情報を「出港届(GOR01)」に反映します。

空港入港前に、運航便、他国からの最終出発空港及び提出先空港単位に旅客情報を登録し、旅客氏名表の報告を行います。また、空港出港時に、運航便名、提出先空港及び最初の到着地空港単位に旅客情報を登録し、旅客氏名表の報告を行う事も可能です。

便名(便名部/日付部)
航空会社コード+フライトナンバーを入力
※フライト・ナンバーの入力では**3桁**又は**4桁**の入力が可能。4桁目には英数字の入力が可能で、それ以外は数字のみ可

【入力例】
OA1513便 → OA1513
11月1日 → 01NOV

変更(C)の場合 → **変更不可**

共通部 | **繰返部**

処理区分

☐ 税関提出無 ☐ 入国管理局提出無 ☐ 検疫所提出無

入出港区分

便名*

航空機登録記号

国籍

提出先空港

施設区分

最初の出発地空港

他国からの最終出発空港

最初の到着地空港

経由地空港

最終目的地空港

記事欄

出発年月日・時刻

到着年月日・時刻

出発年月日・時刻

到着予定年月日・時刻

出発予定年月日・時刻

到着

スペース:登録
C:変更
X:取消し

入出港区分
スペース:入港における旅客情報
E:出港における旅客情報

検疫所提出無
※検疫所に提出しない場合チェック(☐→☒)します

施設区分
P43の施設区分コード表を参照

最初の到着地空港
IATA空港コード及びIATA都市コード
【入港】本邦の最初の到着地空港を入力
【出港】外国の最初の到着地空港を入力

経由地空港
IATA空港コード及びIATA都市コード
【入港】本邦で2番目に寄港する空港又は外国の寄港地を入力
【出港】本邦出発後、2番目に寄航する予定の空港を入力

航空通信
利用可能

33



PLR01入力画面

取消

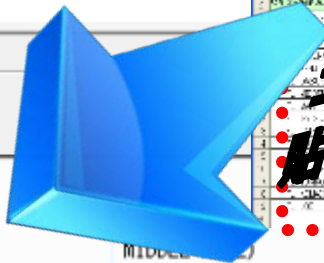
旅客を削除する場合は、「X(エックス)」を入力

X	FL
X	FL
	FL

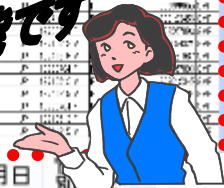
共通部		繰返部	
		1	/999
取消	区分	氏名 (LAST NAME)	FIRST NAME
	FL	NACCS	AIR
	FL	NACCS	SEA
	FL	NACCS	NACCS
	FL	NAC	NAC
	FL	AIR	AIR
	FL	SEA	SEA

区分

FL : 旅客
DDU: 通過旅客



エクセルからの
貼付が可能です



性別

M: 男性
F: 女性
U: 不明

身分証明書等種類

- P: 旅券
- V: ビザ
- A: 外国人登録
- F: その他

国籍	生年月日	性別	身分証明書等種類
JP	20010101	M	P
JP	20020202	F	P
JP	20030303	M	P
JP	20040404	F	P
JP	20050505	M	P
JP	20060606	F	P



“COMPLETION”で正常処理完了です。

※航空通信情報を利用して正常終了した場合は “COMPLETION” は出力されず、“乗組員氏名表控情報” が配信されます。

Attention !
6次NACCS更改に伴い1便あたりの登録可能な旅客数が999人です。

PLR01で入力を行った旅客氏名表の呼び出しを行います。呼び出した情報は、変更・取消に利用する事ができます。

※航空通信情報を利用して提出した旅客氏名表についても呼び出す事ができます。



入出港区分

スペース: 入港における旅客情報
E : 出港における旅客情報
を呼び出す場合

入出港区分

便名※ /

出発空港

到着空港

PLR入力画面

日付部

【入力例】OA1513便
→ OA1513

便名部

【入力例】11月1日
→ 01NOV



呼び出した情報を「旅客氏名表報告(PLR01)」に反映します。

空港入港前に、運航便、他国からの最終出発空港及び提出先空港単位に乗組員情報を登録し、乗組員氏名表の報告を行います。また、空港出港時に、運航便名、提出先空港及び最初の到着地空港単位に乗組員情報を登録し、乗組員氏名表の報告を行う事も可能です。

便名(便名部/日付部)

航空会社コード+フライトナンバーを入力します。
フライト・ナンバーの入力では**3桁**又は**4桁**の入力が可能です。
4桁目には英数字の入力が可能でそれ以外は数字のみです。

【入力例】

OA1513便 → OA1513
11月1日 → 01NOV

変更(C)の場合 → **変更不可**

共通部 繰返部

処理区分 **スペース:登録
C:変更
X:取消し**

☐ 税関提出 ☐ 入国管理局提出 ☐ 検疫所提出 **検疫所提出無**
※検疫所に提出しない場合
チェック(□→☑)します。

入出港区分

便名米 OA1513 / 01NOV

航空機登録記号 OA740J 国籍 JP

提出先空港 NRT 施設区分 1 **施設区分**
P43の施設区分コード表を参照

最初の出発地空港 出発年月日・時刻 -

他国からの最終出発空港 NYC 到着年月日・時刻 -

最初の出発年月日・時刻 2009/11/01 - 08:00

最初の到着地空港 NRT 到着予定年月日・時刻 2009/11/01 - 21:00

経由地空港 出発予定年月日・時刻 -

最終目的地空港 到着予定年月日・時刻 -

記事欄

IATA空港コードを入力

申請種別

一括申請識別に入力が無い場合は必須入力

0: スルー

9: 出国

一括申請種別

0: スルー

9: 出国

身分証明書等種類

P: 旅券

V: ビザ

A: 外国人登録

F: その他

発行国

国名コードを入力

職名

職名コードを入力

P44の乗組員職名コード表を参照

取消	申請種別	区分	氏名 (LAST NAME)	FIRST NAME	身分証明書等種類	身分証明書等番号	発行国	出発地空港	最終目的地空港	旅券満期日	旅券/ビザ発行国	職名	記事欄
	0	FM	KENJI	KASE									
	0	FM	MASAKI	SETO									
	0	FM	EMA	ELENA									
	9	FM	SACHIKO	HOSI									

身分証明書等種類	身分証明書等番号	発行国	出発地空港	最終目的地空港	旅券満期日	旅券/ビザ発行国	職名	記事欄
P	234567890	MX	GMP	MMR	20150524	MX	CAP	
P	123456789	MX	GMP	MMR	20150825	MX	COP	
P	569874563A5	MX	GMP	MMR	20150825	MX	SWS	

エクセルからの貼付が可能です

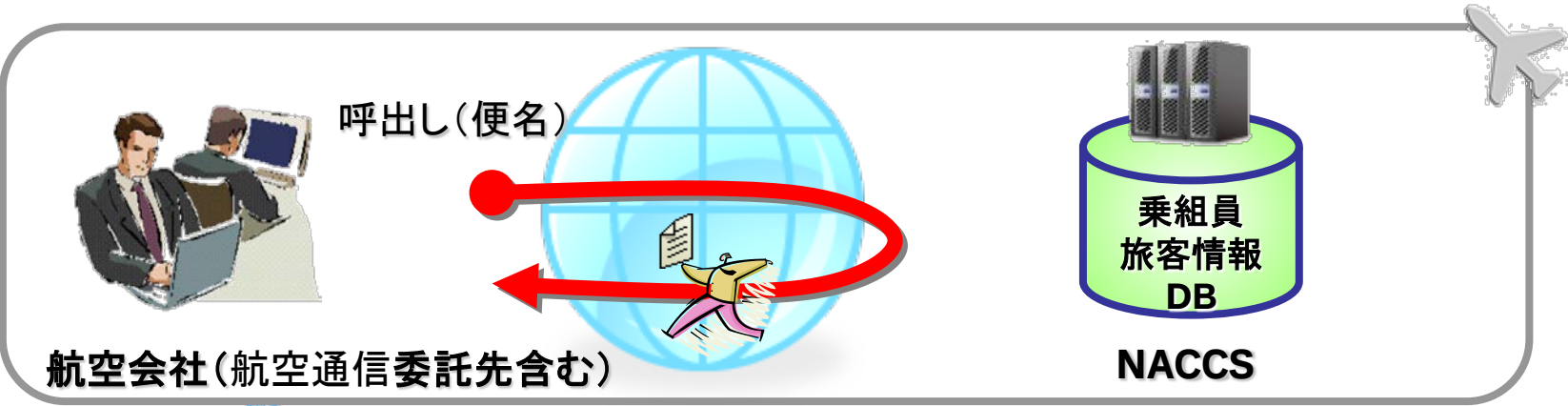


“COMPLETION”で正常処理完了です。

※航空通信情報を利用して正常終了した場合は “COMPLETION” は出力されず “乗組員氏名表控情報” が配信されます。

NLR01で入力を行った乗組員氏名表の呼び出しを行います。呼び出した情報は、変更・取消に利用する事ができます。

※航空通信情報を利用して提出した乗組員氏名表についても呼び出す事ができます。



入出港区分

スペース: 入港における乗組員
情報を呼び出す場合

E : 出港における乗組員情
報を呼び出す場合

入出港区分

便名* /

出発空港

到着空港

日付部

【入力例】11月1日
→ 01NOV

便名部

【入力例】OA1513便
→ OA1513

NLR入力画面



送信

呼び出した情報を「乗組員氏名表報告(NLR01)」に反映します。

空港入出港前に、税関空港または不開港に入出港する旅客の旅客予約記録情報をシステムに登録し、税関及び出入国在留管理庁に報告を行います。

便名(便名部/日付部)

航空会社コード+フライトナンバーを入力
※フライト・ナンバーの入力では3桁又は4桁の入力が可能。
4桁目には英数字の入力が可能で、それ以外は数字のみ可

【入力例】
OA1513便 → OA1513
11月1日 → 01NOV

共通部 繰返部

処理区分

便名*

出発地空港

出発日・時刻 -

到着地空港*

到着日・時刻 -

ページ番号

総ページ数

記事欄

スペース:登録
C:変更
X:取消し

出発地空港

IATA空港コード及びIATA都市コード
国外空港を入力

到着地空港

IATA空港コード及びIATA都市コード
国内空港を入力

変更(C)の場合 → 変更不可

変更(C)の場合 → 変更不可

出国PNR(旅客予約記録情報)についても、平成31年3月17日よりNACCSにより報告することが原則化されました。

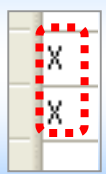
- ①「旅客予約記録情報報告(PNR01)」業務を利用することが可能
- ②現行入国PNRと同様に航空通信利用による報告も可能
(PNR01業務の入力項目表に変更なし)

なお、出国PNRも、入国PNRと同様、航空通信を利用する場合あらかじめ税関等に「航空通信情報利用による事前報告(代行手続)申出書兼委託先登録依頼書(以下「事前申出書」)の提出が必要ですが、既に入国PNRで事前申出書が提出されている場合は、改めて同申出書を提出する必要はありません。

航空通信利用(ARINCのみ)可能

取消

旅客を削除する場合は、「X(エックス)」を入力



取消表示	旅客氏名 (ラストネーム)	旅客氏名 (ファーストネーム)	旅客国籍	旅客生年月日	旅客性別	旅客身分証明書等番号
	NACCS	AIR	JP	20000101	M	
	NACCS	AIR	JP	20000101	M	
	NACCS	AIR	JP	20000101	F	
	NACCS	AIR	JP	20000101	M	

Excelからの貼付が可能です



カチ送信

“COMPLETION”で正常処理完了です。

性別

M: 男性
F: 女性
U: 不明

※航空通信情報を利用して正常終了した場合は “COMPLETION” は出力されず、“旅客予約記録控情報” が配信されます。

PNR01で入力を行った旅客予約記録情報呼出しの呼び出しを行います。呼び出した情報は、変更・取消に利用する事ができます。

※航空通信情報を利用して提出した旅客予約記録情報呼出しについても呼び出す事ができます。



便名 *	OA1513 / 01NOV
出発地空港	
到着地空港	

便名部

【入力例】OA1513便
→ OA1513

日付部

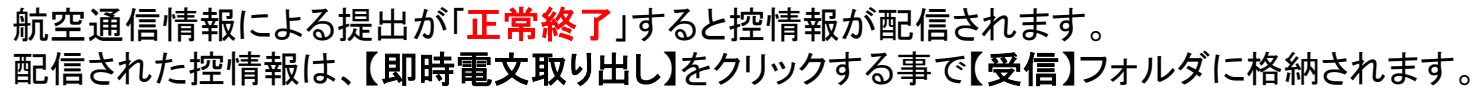
【入力例】11月1日
→ 01NOV

PNR入力画面



送信

呼び出した情報を「旅客予約記録情報報告(PNR01)」に反映します。



即時電文取り出し

航空通信の届出の場合、電文取出し方法は、EXC型宛先管理登録を参照



<A I R>	
便名 XXXXX / XXXX	旅客予約記録控
E D I F A C T 表示 X	
出発地空港 XX	出発年月日・時刻 yyyy/MM/dd-XX:XE
到着地空港 XX	到着年月日・時刻 yyyy/MM/dd-XX:XE

旅客予約控情報(出力コード: AAA2010)

乗組員氏名表控情報(出力コード:AAA0241)

旅客氏名表控情報 (出力コード: AAA0162)



空港施設区分コード

空港	ビル、棟		スポット	施設区分コード
NRT	成田空港第1ビル	北棟	－	1
		南棟	－	2
	成田空港第2ビル		60及び90番台	3
			70及び80番台	4
	成田空港第3ビル		－	5
	オープンスポット (貨物ターミナル含)		－	航空機が使用するビル、棟の施設区分を上記1～4のいずれかで入力
HND	羽田空港第3ビル		－	1
	羽田空港第2ビル		－	2
	オープンスポット (貨物ターミナル含)		－	航空機が使用するビルの施設区分を上記1または2のいずれかで入力
NGO	第1ターミナルビル		1、10～25	1
	第2ターミナルビル		71～78	2
	オープンスポット (貨物ターミナル含)		101～、N1～N6	航空機が使用するビルの施設区分を上記1または2のいずれかで入力
KIX	第1ターミナルビル北ウイング(搭乗橋)		1～18	1
	第1ターミナルビル南ウイング(搭乗橋)		25～41	2
	第2ターミナルビル		80～91	3
	オープンスポット (貨物ターミナル含)		101～ M2～9	4
その他の空港				1



コード	内 容
CAP	機長
COP	副操縦士
F/E	フライトエンジニア
OBS	オブザーバー
TRN	トレーニング
SPR	キャビンスーパーバイザー
CDR	キャビンコーディネーター
ATT	フライトアテンダント
CPR	チーフパーサー
PUR	パーサー
APR	アシスタントパーサー
SWD	スチュワード
SWS	スチュワーデス
D/H	デッドヘッドクルー
OTH	その他

提出情報に変更が生じた場合の変更手順(1/2)



1名の旅客情報の生年月日に不備があり、届出の人数が足りなかった!!

1. 航空通信届出状況等の確認

旅客氏名控情報(出力コード:AAA0162)に未登録者数がカウントされ、あわせて旅客氏名未登録者情報(出力コード:AAA1601)が配信されていた。IGD照会でも、その旨、表示があった。

※ 乗組員の場合は、乗組員氏名控情報(AAA0241)に未登録者数がカウントされ、乗組員氏名未登録者情報(AAA1780)が配信されます。

2. 情報の呼出・キー情報入力

【業務コード入力】→【PLR】を入力→【OK】を押し、“入出港区分”、“便名(便名部・日付部)”を入力します。 ※日付はDDMMM形式で入力してください。

※乗組員情報についても同様の手順にて変更・取消が可能

【業務コード入力】→【NLR】を入力→【OK】

3. 共通部(処理区分)

呼び出された情報の処理区分を「C:変更」にします。

共通部	繰返部
処理区分 C	

4. 繰返部(旅客の追加・削除)

取消手順

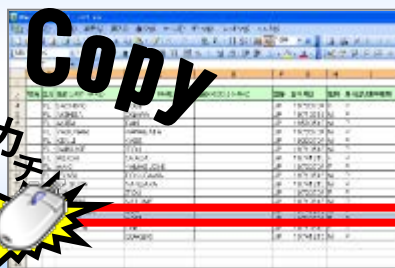
旅客を削除する場合は、「X(エックス)」を入力し、再送信。

X	FL	KENJI
X	FL	DAISUKE
	FL	MIDORI

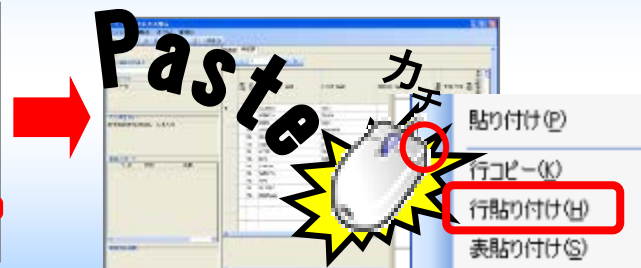
追加手順

旅客氏名を追加する場合は、一番下の空白行に直接手入力し、再送信

※以下のとおり、エクセルからの貼り付けも可能です。



①追加する旅客の行をコピーします。



②追加する一番下の行(左端)で【右クリック】→【行貼り付け】

共通部	繰返部		
1 / 999			
取消	区分	氏名 (LAST NAME)	FIRST NAME
	FL	NACCS	AIR
	FL	NACCS	SEA
	FL	NACCS	NACCS
	FL	NAC	NAC
	FL	AIR	AIR
	FL	SEA	SEA

送信

“COMPLETION”で正常処理完了です。

KPC01業務は、KPC業務で航空機の情報呼び出して、送信することが可能です。
(訂正、取消時も同様に呼び出しで行うことができます。)

届出受理番号

船舶・航空機識別 (A:航空機・プライベート機)
(S:船舶)

船舶・航空機コード

KPC呼出し画面

ファイル(F) 編集(E) 業務(J) 表示(V) オプション(O)

元に戻す 切り取り コピー 貼り付け 外部ファイルを開く 名前

新規業務画面 送信 送信フォルダーに保存 添付ファイルの追加

書類を添付する時は、KPC01業務画面上の「添付ファイルの追加」ボタンをクリックして、送付したい書類を選択します。



KPC01業務送信後は、IKP業務で内容の照会ができます。

照会種別コード* (A:届出内容)
(B:照会履歴)

届出受理番号

船舶・航空機識別 (A:航空機・プライベート機)
(S:船舶)

船舶・航空機コード



届出種別* (9:登録)
(5:訂正)
(1:取消)

届出受理番号 社内整理番号

届出先税関官署 船舶・航空機識別 (A:航空機)
(S:船舶)
(P:プライベート機)

船舶・航空機コード -

国籍 種類

所有者名

用船(機)者名

総トン数(自重) t 純トン数 t

資格変更種別
 資格変更を必要とする事由

資格変更港・空港名

残存油1 -

税関出力要表示 (△:税関出力なし)
(Y:税関出力あり) 添付要否 ☐

備考欄

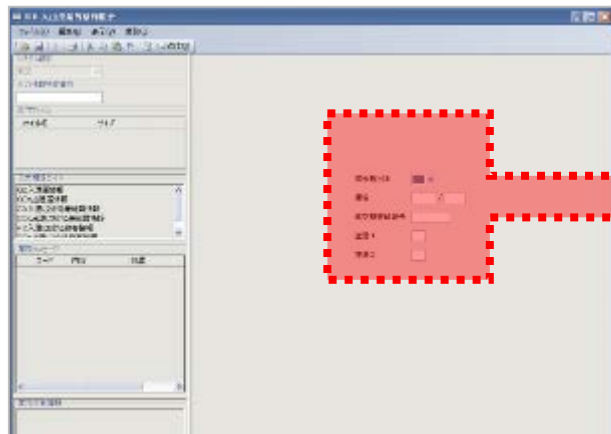
<航空機の資格変更の場合>

- A: 外国貿易機⇒非外国貿易機
- B: 非外国貿易機⇒外国貿易機
- C: 特殊航空機⇒国内航空機
- D: 国内航空機⇒特殊航空機

(注) 当該非外国貿易機が特殊航空機に該当する場合は、「備考欄」欄に「資格: 特殊」と入力する。

KPC01入力画面

便名を入力する事により、入港届情報、出港届情報、入出港における乗組員情報及び旅客情報を照会することができます。また、航空機登録記号を入力する事により、入港届情報または出港届情報を照会することも可能です。



IGD入力画面

照会種別

- GI: 入港届情報
- GO: 出港届情報
- CI: 入港における乗組員情報
- CO: 出港における乗組員情報
- PI: 入港における旅客情報
- PO: 出港における旅客情報

照会種別*

OA1513 / 01NOV

便名

航空機登録記号

空港 1

空港 2

空 港 1

IATA空港コード3桁を入力

照会種別が

- ・「GI」の場合は、**到着空港**を入力
- ・「GO」の場合は、**出発空港**を入力
- ・「CI」、「CO」、「PI」のまたは「PO」の場合は、**提出先空港**を入力

空 港 2

IATA空港コード

照会種別が

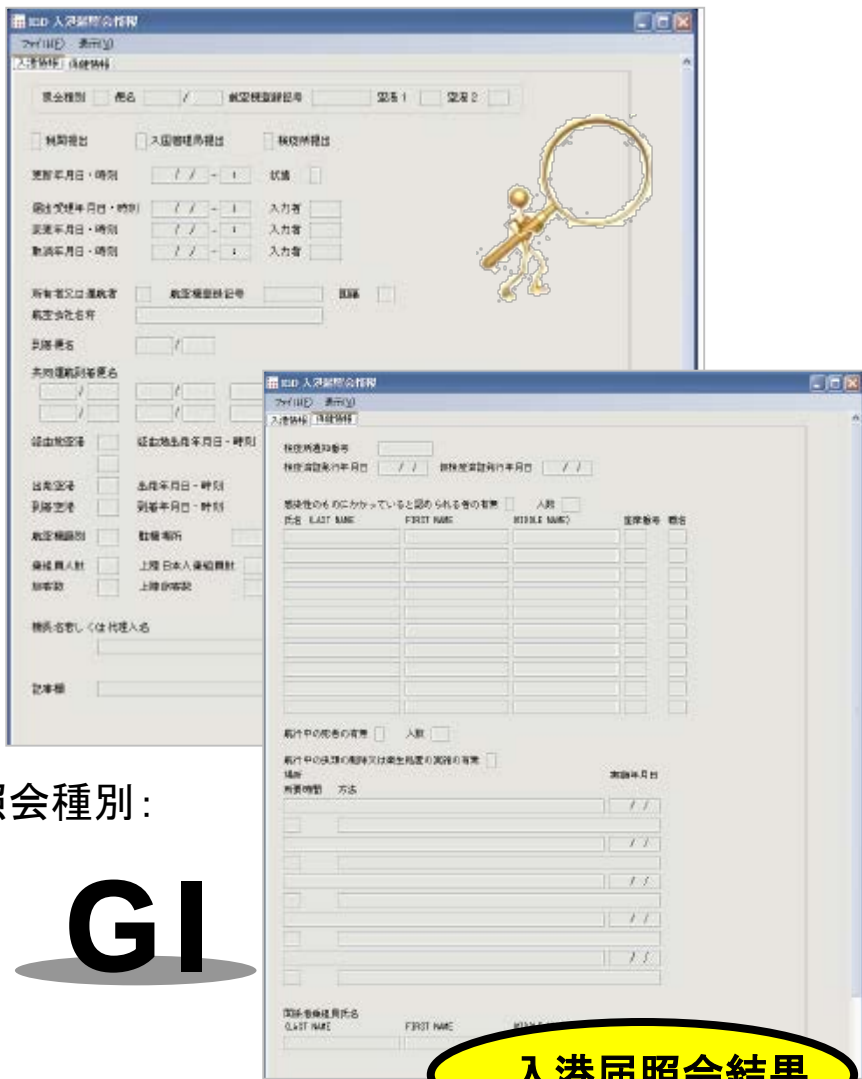
- ・「GI」または「GO」の場合は、**入力不可**
- ・「CI」または「PI」の場合は、**他国からの最終出発空港**を入力
- ・「CO」「PO」の場合は、**最終の到着空港**を入力

カチ



送信

照会した結果を表示します。



照会種別:

GI

入港届照会結果

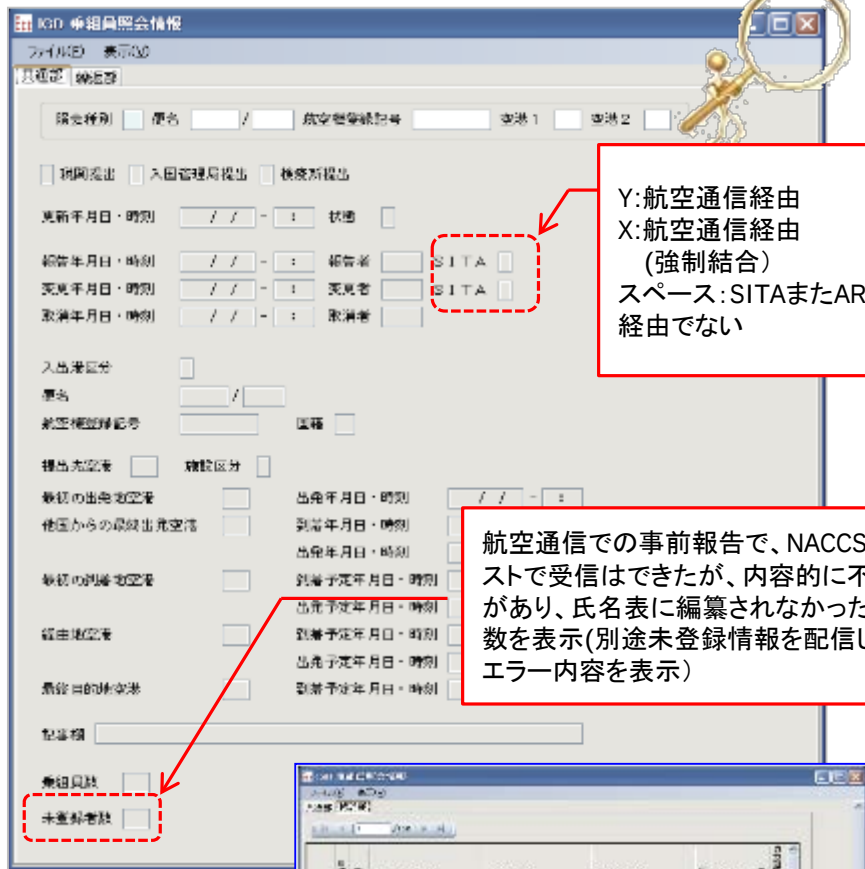


照会種別:

GO

出港届照会結果





IGD 乗組員照会情報

照会種別 ☐ 便名 / 航空機登録記号 空港1 空港2

☐ 税関提出 ☐ 入国管理局提出 ☐ 検疫所提出

更新年月日・時刻 / / - : 状態 ☐

報告年月日・時刻 / / - : 報告者 S I T A ☐

変更年月日・時刻 / / - : 変更者 S I T A ☐

取消年月日・時刻 / / - : 取消者

入出港区分 ☐

便名 /

航空機登録記号 国籍

提出先空港 ☐ 施設区分 ☐

最初の出発地空港 ☐ 出発年月日・時刻 / / - :

他国からの最終出発空港 ☐ 到着年月日・時刻 / / - :

出発年月日・時刻 / / - :

最初の到着地空港 ☐ 到着予定年月日・時刻 / / - :

出発予定年月日・時刻 / / - :

経由地空港 ☐ 到着予定年月日・時刻 / / - :

出発予定年月日・時刻 / / - :

最終目的地空港 ☐ 到着予定年月日・時刻 / / - :

記事欄

乗組員数

未登録者数

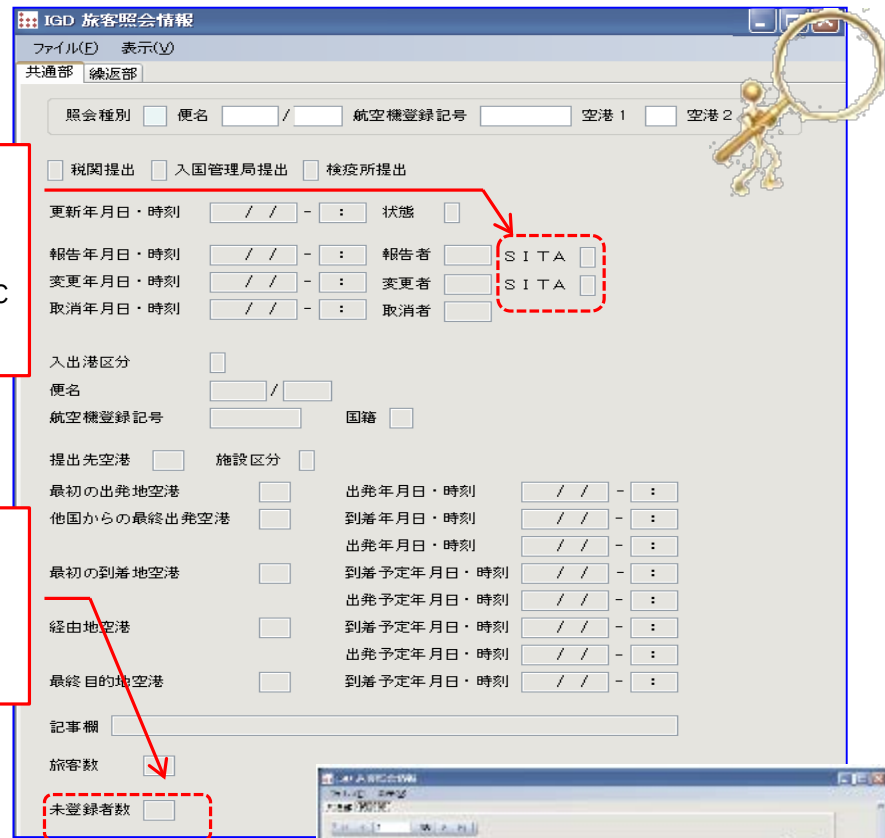
Y:航空通信経由
X:航空通信経由
(強制結合)
スペース:SITAまたARINC
経由でない

航空通信での事前報告で、NACCSホ
ストで受信はできたが、内容的に不備
があり、氏名表に編纂されなかった人
数を表示(別途未登録情報を配信し、
エラー内容を表示)

照会種別:

CI,CO

乗組員照会結果



IGD 旅客照会情報

照会種別 ☐ 便名 / 航空機登録記号 空港1 空港2

☐ 税関提出 ☐ 入国管理局提出 ☐ 検疫所提出

更新年月日・時刻 / / - : 状態 ☐

報告年月日・時刻 / / - : 報告者 S I T A ☐

変更年月日・時刻 / / - : 変更者 S I T A ☐

取消年月日・時刻 / / - : 取消者

入出港区分 ☐

便名 /

航空機登録記号 国籍

提出先空港 ☐ 施設区分 ☐

最初の出発地空港 ☐ 出発年月日・時刻 / / - :

他国からの最終出発空港 ☐ 到着年月日・時刻 / / - :

出発年月日・時刻 / / - :

最初の到着地空港 ☐ 到着予定年月日・時刻 / / - :

出発予定年月日・時刻 / / - :

経由地空港 ☐ 到着予定年月日・時刻 / / - :

出発予定年月日・時刻 / / - :

最終目的地空港 ☐ 到着予定年月日・時刻 / / - :

記事欄

旅客数

未登録者数

照会種別:

PI,PO

旅客照会結果

業務コード: IGA<検疫前通報情報照会>

到着便名及び到着空港を入力することにより、検疫前通報情報を照会できます。

IGA 検疫前通報情報照会

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 業務(J) オプション(O)

データ登録(A) 送信(S)

システム識別

航空

入力情報特定番号

添付ファイル

ファイル名

入力項目ガイド

到着便名* OA0153 / 01NOV

到着空港

IGA入力画面

送信

照会した結果を表示します。

Attention !

第6次NACCSからGIA01業務の仕様変更に伴い照会業務に関しても記事欄の表示桁数が増加しています。

到着便名 / 到着空港

検疫前通報年月日・時刻 / / - : 入力者

変更年月日・時刻 / / - : 入力者

取消年月日・時刻 / / - : 入力者

所有者又は運航者 ☐ 航空機登録記号 国籍 ☐

航空会社名称

到着便名 /

共同運航到着便名

出発前寄港 ☐ 寄港出発年月日・時刻 / / - :

出発空港 ☐ 出発年月日・時刻 / / - :

到着空港 ☐ 到着年月日・時刻 / / - :

航空機識別 ☐ 駐機場所 ☐ 施設区分 ☐

乗組員人数 ☐ 上陸日本人乗組員数 ☐ 上陸外国人乗組員数 ☐ 通過乗組員数 ☐

上陸旅客数 ☐ 乗継旅客数 ☐

機長名若しくは代理人名

記事欄

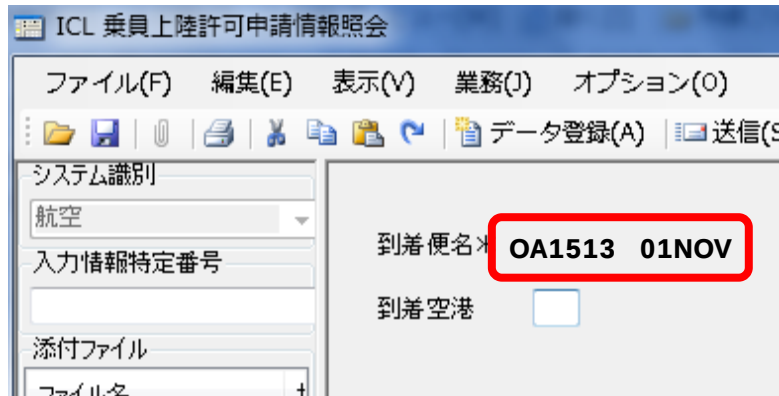
感染性のものにかかっていると認められる者の有無 ☐ 人数 ☐

航行中の死者の有無 ☐ 人数 ☐

検疫区域に到着する予定年月日・時刻 / / - :

業務コード:ICL<乗員上陸許可申請情報照会>

到着便名及び到着空港を入力することにより、乗員上陸許可申請情報を照会できます。



ICL 乗員上陸許可申請情報照会

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 業務(I) オプション(O)

システム識別
航空

入力情報特定番号

添付ファイル

ファイル名

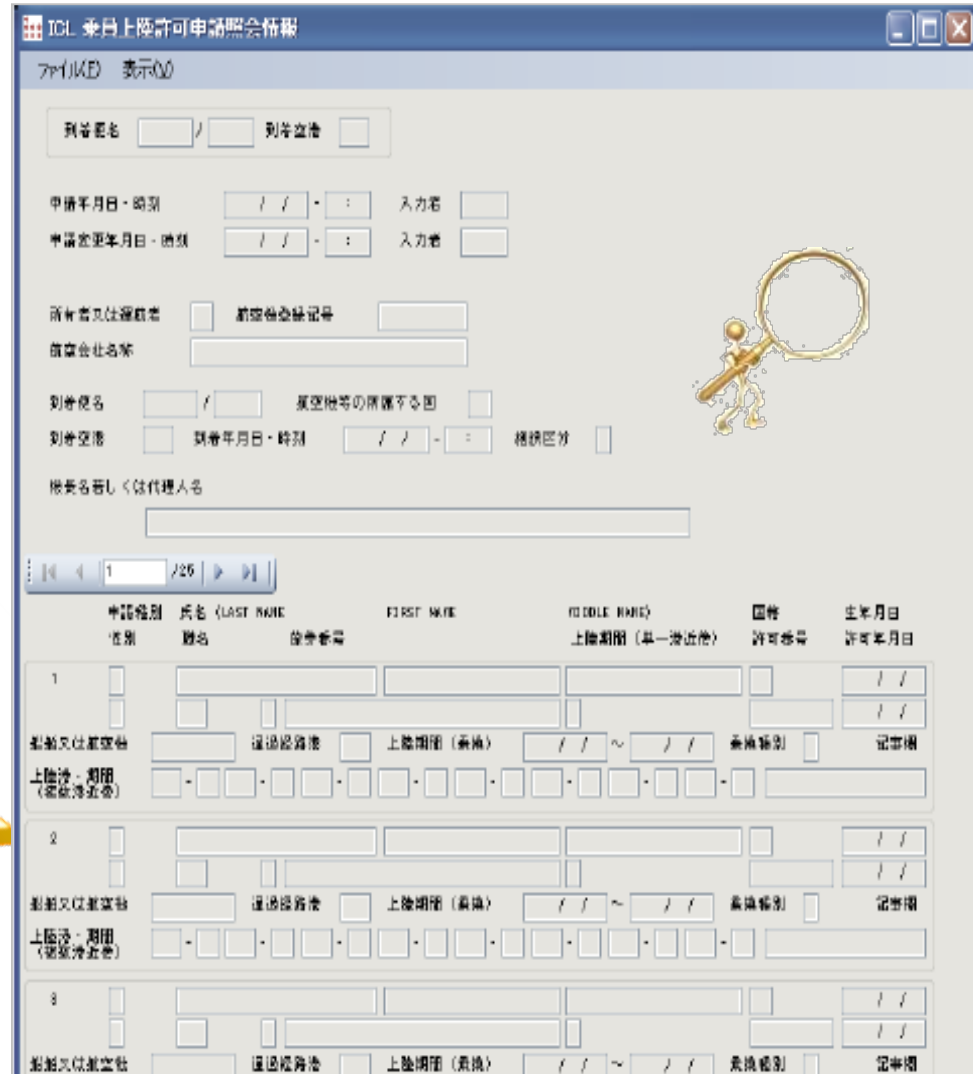
到着便名× **OA1513 01NOV**

到着空港

ICL入力画面



照会した結果を表示します。

ICL 乗員上陸許可申請照会情報

ファイル(F) 表示(V)

到着便名 / 到着空港

申請年月日・時刻 / 入力者

申請変更年月日・時刻 / 入力者

所有者又は運航者 前受登録番号

航空会社名称

到着便名 / 航空機等の所属する国

到着空港 到着年月日・時刻 権限区分

検索名若しくは代理人名

申請種別	氏名 (LAST NAME)	FIRST NAME	MIDDLE NAME	国籍	生年月日
性別	姓	名	姓	上陸期間 (第一着陸後)	許可番号
1					
船舶又は航空機	通過経路後	上陸期間 (乗機)		乗機種別	記事欄
上陸時・期間 (客機降全機)					
2					
船舶又は航空機	通過経路後	上陸期間 (乗機)		乗機種別	記事欄
上陸時・期間 (客機降全機)					
3					
船舶又は航空機	通過経路後	上陸期間 (乗機)		乗機種別	記事欄

航空通信エラーの確認方法

①「受信」フォルダにある電文に、当該便の情報があるか否かを確認します。



A/S	業務コード	出力コード	入力No	形式	処理結果コード	業務固有情報	送受信時刻	種別	終了
A	T00	AAA1601		Q	00000-0000-0000	FF0020/09 JUN	2011/06/09 17:39:56	R	F
A	T00	AAA162		Q	00000-0000-0000	FF0020/09 JUN	2011/06/09 17:39:05	R	F
A	T00	AAA0241		Q	00000-0000-0000	FF0020/09 JUN	2011/06/09 17:39:05	R	F

出力情報コード	出力情報名
AAA1601	旅客氏名表未登録者情報
AAA1780	乗組員氏名表未登録者情報
AAA1610	旅客氏名表強制結合情報
AAA1790	乗組員氏名表強制結合情報
AAA0940	エラー通知情報(旅客情報)
AAA0950	エラー通知情報(乗組員情報)
AAA2031	エラー通知情報(旅客予約記録情報)
AAA0162	旅客氏名表控情報
AAA0241	乗組員氏名表控情報
AAA2010	旅客予約記録控情報

該当便名を表示

エラーとなっており、何らかの対処を要する。
(上記画面では1行目のAAA1601が該当)

正常に終了。

② 当該便のエラー通知情報をダブルクリックします。

	A/S	業務コード	出力コード	入力No	形式	処理結果コード	業務固有情報	送受信時刻
	A		AAA1601		Q		FF0020/09JUN	2011 /06/09 15:37



③ 開いた情報で未登録者の合計人数と、各自毎のエラー内容を確認します。

便名 35002/06JUN

旅客氏名未登録者

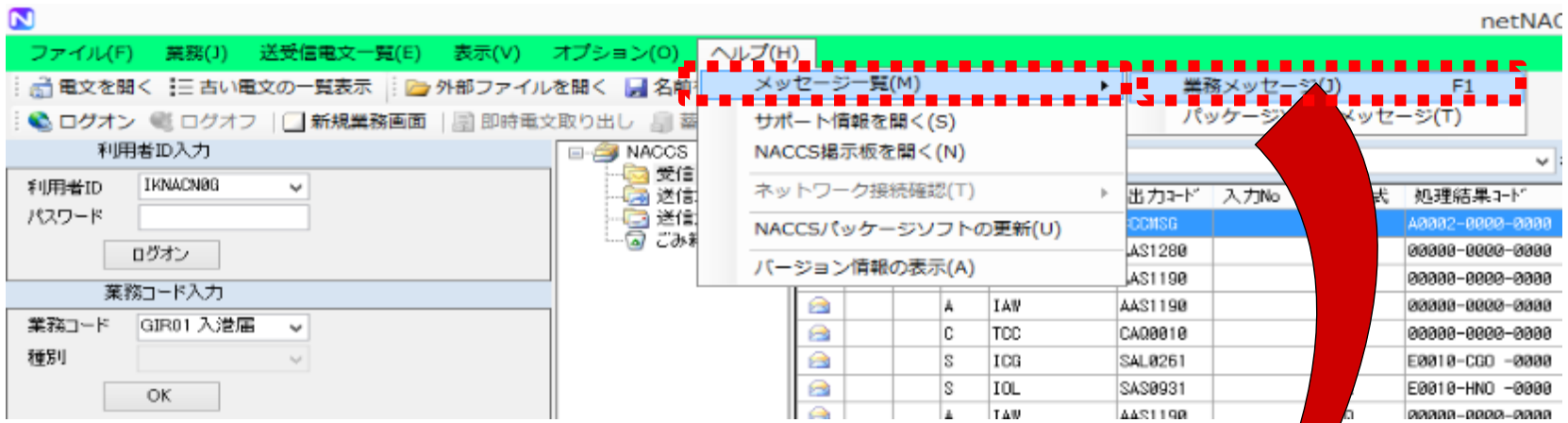
税関提出	Y	入国管理局提出	Y	被検所提出	Y
入出港区分		航空機登録記号		国籍	4
提出先空港	NRT	施設区分			
最初の出発地空港		出発日時			
側面からの最終出発空港	ICN	到着日時			
		出発日時	2011		
最初の到着地空港	NRT	到着日時	2011		
		出発日時			
経由地空港		到着日時			
		出発日時			
最終目的地空港		到着日時			
入力者	J1234				
記事欄					
未登録者数	1				

区分	氏名(LAST NAME	FIRST NAME	MIDDLE NAME)
国籍	生年月日	性別	種類
出発地空港	最終目的地空港	身分証明書等番号	
		旅券満期日	旅券発行国 エラー原因
1 FL	TOYODA	ICHIRO	
JP	20750220	M	P
ICN	NRT	TK00001010	
		20170705	JP
			S0054

区分	氏名(LAST NAME	FIRST NAME	MIDDLE NAME)
国籍	生年月日	性別	種類
出発地空港	最終目的地空港	身分証明書等番号	
		旅券満期日	旅券発行国 エラー原因
1 FL	TOYODA	ICHIRO	
JP	20750220	M	P
ICN	NRT	TK00001010	
		20170705	JP
			S0054

エラーコード「S0054」
↓
「旅客生年月日は過去日ではない」という意味です。

④エラー内容の確認は、まず「ヘルプ」→「業務メッセージ」をクリック(または「F1」)します。



⑤次に、画面左側の該当業務コード(旅客情報ならPLR01、乗組員情報ならNLR01)をクリックします。



処理結果コード「S0054」

⑥Ctrl+Fキーの検索で「S0054」を検索します。

⑦エラーの内容を確認します。

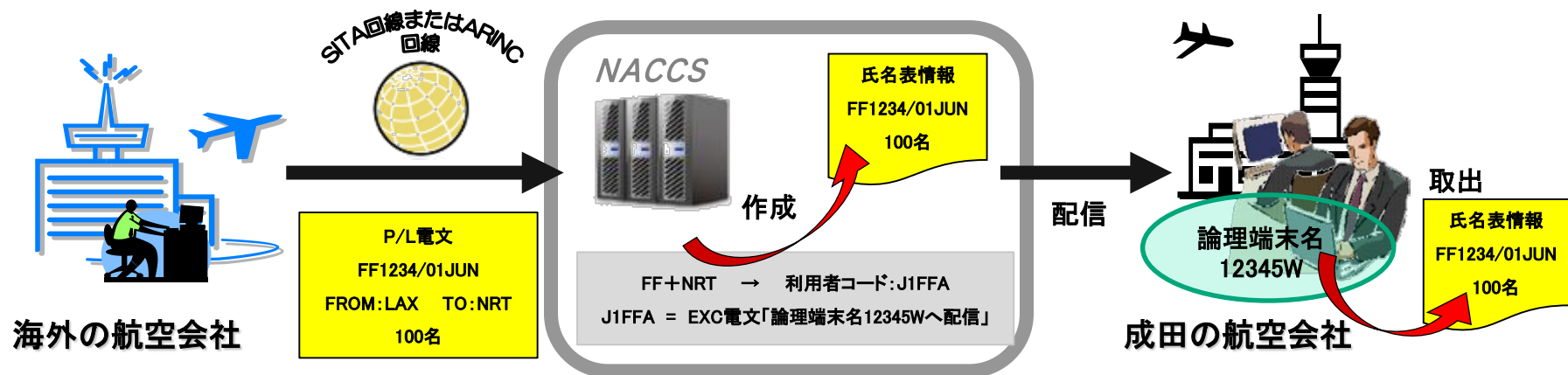
その後、処置に従って入力し直します。

S0053	旅客生年月日	BRT	入力された旅客生年月日が日付として妥当でない。	旅客生年月日を訂正して再入力する。
S0054	旅客生年月日	BRT	入力された旅客生年月日は過去日でない。	旅客生年月日を確認して再入力する。
S0055	旅客性別	SEX	旅客性別が入力されていない。	旅客性別を入力する。
S0056	旅客性別	SEX	入力された旅客性別が規定外である。	適切な旅客性別を入力する。
S0058	旅客身分証明書等種類	IDK	入力された旅客身分証明書等種類が規定外である。	適切な旅客身分証明書等種類を入力する。
S0059	旅客身分証明書等番号	IDN	旅客身分証明書等番号に使用可能でない文字が入力されている。	NACCS使用可能文字を入力する。 (EDI仕様書「3.電文方式と構造」参照)
S0060	出発地空港	ORG	出発地空港に使用可能でない文字が入力されている。	NACCS使用可能文字を入力する。 (EDI仕様書「3.電文方式と構造」参照)
S0061	最終目的地空港	DST	最終目的地空港に使用可能でない文字が入力されている。	NACCS使用可能文字を入力する。 (EDI仕様書「3.電文方式と構造」参照)

EXC型宛先管理登録について

◎EXC電文とは・・・

自身が入力した業務ではなく、他者の入力等をKeyに配信される電文を言います。入港時、航空通信での事前報告をNACCSホストが処理した際、配信される氏名表やエラー情報等が、これに該当します。利用者コード単位に配信方法の選択が可能です。



◎EXC電文の配信方法

- ①即時電文取り出し 配信先を端末1台に割り当てる。(事務所内にNACCS端末が1台しかない場合にお勧め。)
 - ②蓄積電文取り出し 利用者コードに割り当て、必要な時にNACCSホストから取出しを行う(事務所内でNACCS端末が複数台ある場合のお勧め)。どの端末でも取出し可能なので、電文管理は事務所内でルールを決めてください。
- ※①②いずれの場合も、NACCSホストで電文作成後、7日以内に取出さない場合、自動廃棄します。また、一度取出した電文の再配信はできません。電文の取り忘れ・紛失にはご注意ください。

◎EXC型宛先管理の変更 即時型での論理端末番号の変更や、即時型⇄蓄積型の変更はご自身で変更することが可能です。

UOC11【EXC型宛先管理登録呼出し】→ UOC【EXC型宛先管理登録】業務により行います。

※ 業務規制時間があります(平日の00:00～23:00のみ可)

航空通信の情報利用 事前報告申出書の提出書類

入出港関係手続における 業務権限について

**CIQ宛に各1部提出
=3部準備します**

(入国管理局)	御中
(税関)	御中
(検疫所)	御中

別添1

平成 年 月 日

氏名(名称及び代表権者の氏名)

電話番号

担当者

この書類は、就航する空港が増える都度、提出する必要があります。
また、既に提出済み内容を変更・削除する際も同様に手続きを要します。

弊社は、下記規定に基づく乗組員及び旅客氏名表の報告について、航空通信情報をNACCSによる自動変換機能を利用して提出することを申し出ます。

入国管理局：出入国管理及移住法第57条
 税 関：関税法15
 検 疫 所：検疫法11

NACCS利用者

NACCS利用者コードを記入。

また、弊社は、下記航空会社が

航空通信により届出を他者へ委託する場合、
その利用者コードを入力(※変更する際も同様です)
(同一航空会社の他空港利用者コードの登録も可)

(1) 代表利用者の利用者コード

--	--	--	--	--

(2) 手続きを行う航空会社

登録区分	航空会社名	航空会社コード	空港コード	乗組員氏名表（※） 委託先利用者コード1 委託先利用者コード2		旅客氏名表（※） 委託先利用者コード	手続開始日
☐ 追加 ☐ 削除							
☐ 追加 ☐ 削除							

航空通信で届出を行う航空会社名と、その2レター・空港コード(3桁)を記入

航空通信で届出を開始する日
(就航日前日等)

行政機関担当書記入欄 システム登録者記入欄

つづき有無
☐あり ☐なし

航空通信で届出を行う航空会社名と、
その2レター・空港コード(3桁)を記入

航空通信で届出を開始する日付を入力。
(就航日前日等)

(注) 1. この様式は、入国管理局、税関、検疫所の各提出窓口へ1通ずつ提出して下さい。
2. この中種の内容に変更があった場合は、直ちに提出窓口へ申し出て下さい。

航空通信情報を利用して旅客予約記録情報を提出するためには、事前に「航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告申出書兼 委託先登録依頼書」を【税関】に提出する必要があります。

別添1

航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告申出書兼 委託先登録依頼書

平成 年 月 日

税関宛に提出します

(税関) 御中

この書類は、就航する空港が増える都度、提出する必要があります。
また、既に提出済み内容を変更・削除する際も同様に手続きを要します。

申出者
氏名(名称及び代表権者の氏名)
電話番号
担当者

弊社は、下記規定に基づく旅客予約記録情報について、航空通信情報をNACCSによる自動変換機能を利用して提出することを申し出ます。

根拠法令： 関税法第1条第20条第4項

NACCS利用者コードを記入。

航空通信により届出を他者へ委託する場合、その利用者コードを入力(※変更する際も同様です)(同一航空会社の他空港利用者コードの登録も可)

(1) 代表利用者の利用者コード

(2) 報告を行う航空会社

登録区分	航空会社名	航空会社コード	空港コード	旅客予約記録情報(※) 委託先利用者コード
1 ☐ 追加 ☐ 削除				
2 ☐ 追加 ☐ 削除				
3				
4				
5				
6				

航空通信で届出を行う航空会社名と、その2レター・空港コード(3桁)を記入

(※) 委託先利用者コード欄へ委託先の利用者コードを記載すると、委託先において報告・変更・取消し・呼出・照会業務が可能となります。

行政機関担当者記入欄

システム登録者記入欄

つづき有無
☐ あり ☐ なし

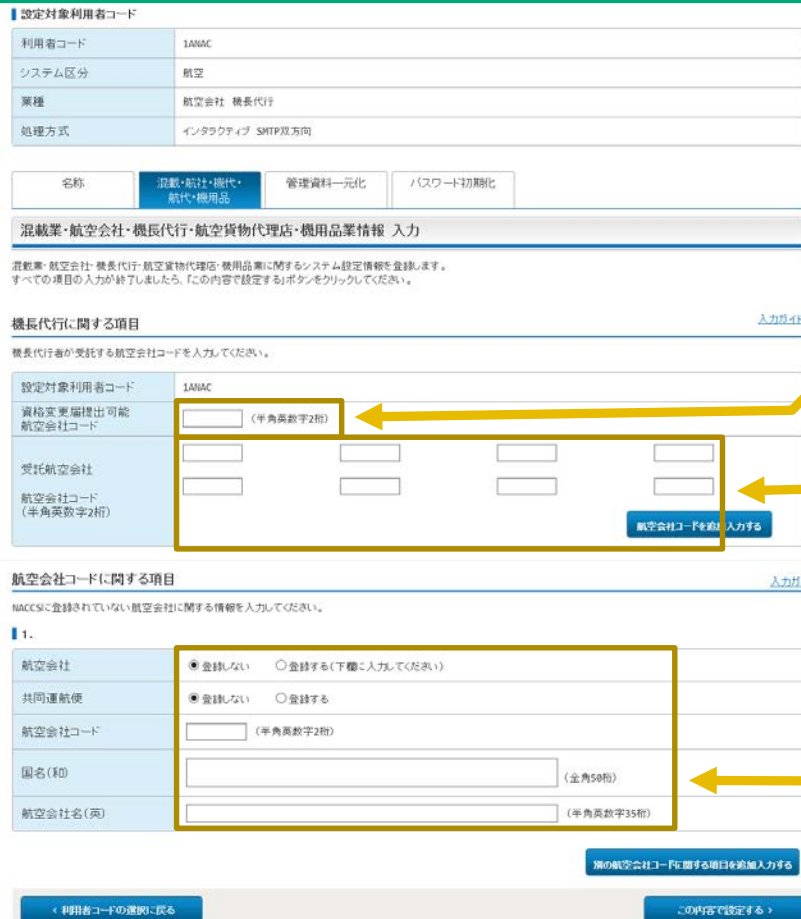
(注) この申請の内容に変更があった場合は、直ちに提出窓口へ申し出て下さい。

NSSによる機長代行登録について

入出港届業務等における航空会社の機長代行者を、NACCSへ登録するためにはNSS (NACCSサポートシステム) からの登録が必要となり、以降、GD手続きの代行が可能です。

「航空通信情報利用による事前報告(代行手続)申出書」もしくは「航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告申出書」を提出する場合は、NACCSへの登録が必要となりますのでご注意ください。

なお、1利用者コードで代行できる航空会社数は最大100件までです。



設定対象利用者コード

利用者コード	1ANAC
システム区分	航空
業種	航空会社 機長代行
処理方式	インタラクティブ SMTP送方向

名称: 登録・船社・機代・航代・機用品 管理資料一元化 パスワード初回入力

混載業・航空会社・機長代行・航空貨物代理店・機用品業情報 入力

混載業・航空会社・機長代行・航空貨物代理店・機用品業に関するシステム設定情報を登録します。
すべての項目の入力が終了しましたら、「この内容で設定する」ボタンをクリックしてください。

機長代行に関する項目 [入力ガイド](#)

機長代行者が受託する航空会社コードを入力してください。

設定対象利用者コード	1ANAC
資格変更届提出可能航空会社コード	(半角英数字2桁)
受託航空会社	
航空会社コード (半角英数字2桁)	

[航空会社コードを追加入力する](#)

航空会社コードに関する項目 [入力ガイド](#)

NACCSに登録されていない航空会社に関する情報を入力してください。

1.

航空会社	☒ 登録しない ☐ 登録する(下欄に入力してください)
共同運航便	☒ 登録しない ☐ 登録する
航空会社コード	(半角英数字2桁)
国名(和)	(全角50桁)
航空会社名(英)	(半角英数字35桁)

[他の航空会社コードに関する項目を追加入力する](#)

[利用者コードの選択に戻る](#) [この内容で設定する](#)

■資格変更届提出可能航空会社コード

①入出港手続き及び資格変更届を提出したい航空会社の2レターを入力します。

※1利用者コードにつき、1航空会社のみ設定できます。

■受託航空会社

②入出港手続きを受託している航空会社の2レターを入力します。

8社以上追加したい場合は、「航空会社コードを追加入力する」を押下して下さい。
入力欄が表示されます。

■航空会社・共同運航便等

③前頁①及び②で入力した航空会社コード(2レター)がNACCSに登録されていない場合、本項目に情報を入力します。

※航空会社がNACCSに登録されているか否かはNACCS掲示板業務コード集項番35「航空会社コード」をご確認下さい。



【GDとは】

GD(General Document)とは、入出港届と言う。入国管理局、税関、検疫など各関係省庁へ提出するものです。

これに乗員名簿(クルーリスト)、乗客名簿(パッセンジャーマニフェスト)、貨物リスト(カーゴマニフェスト)などが添付されます。
入港時・出港時に提出します。

入出港関係手続における業務権限について(1/3)

「航空通信情報利用による事前報告(代行手続)申出書兼委託先登録依頼書」にて代表利用者コード・委託先利用者コードを登録した場合、NACCSからの呼出業務・照会業務の可否に関しては、以下の通りです。

「○」は入力可能者 「-」は入力不可

照会業務は除く

業務コード	業務名	代表利用者 として登録された者	委託先状況		備考
			乗組員氏名表委託先利用者 として登録された者	旅客氏名表委託先利用者 として登録された者	
PLR	旅客氏名表報告呼出し	○	-	○ 委託を受けた航空機に対する 呼出しが可能となる。	※1
PLR01	旅客氏名表報告	○	-	○ 委託を受けた航空機に対する 訂正・取消しが可能となる。	※1
NLR	乗組員氏名表報告呼出し	○	○ 委託を受けた航空機に対する 呼出しが可能となる。	-	※1
NLR01	乗組員氏名表報告	○	○ 委託を受けた航空機に対する 訂正・取消しが可能となる。	-	※1
CLP	①乗員上陸許可申請呼出し (呼出し区分「C」の場合) (※2)	○	○ 委託を受けた航空機に対する 乗組員情報から呼出しが可能となる。	-	※1
	②乗員上陸許可申請呼出し (上記①以外の場合)	○	○ 委託を受けた利用者と同一であれば、 航空機に対する乗組員情報 から訂正・取消しが可能となる。	-	
CLP01	乗員上陸許可申請	○	○ システムに機長代行者として登録 されている利用者であること。	-	
GIR	①入港届呼出し (呼出し区分「A」又は「B」の場合) (※3)	○	○ 委託を受けた航空機に対する 呼出しが可能となる。	-	※1
	②入港届呼出し (上記①以外の場合)	○	○ システムに機長代行者として登録 されている利用者であること。	-	
GIR01	入港届	○ 入力者が航空会社の場合、システムに 機長代行者として登録されている 利用者であること。	-	-	

代表利用者として登録のある航空機: 予め代表利用者として航空会社(便名先頭2桁)及び空港単位に登録され、当該便名2桁及び空港が合致する航空機
委託を受けた航空機: 予め旅客委託者又は乗組員委託者として、航空会社(便名先頭2桁)及び空港単位に登録され、当該便名2桁及び空港が合致する航空機

- ※1: 対象業務の当初情報登録者はこれに限らず実施可能
※2: 呼出し区分「C」: 乗組員情報を呼び出す場合
※3: 呼出し区分「A」: 検疫前通報情報から呼び出す場合
呼出し区分「B」乗員上陸許可申請情報から呼び出す場合

入出港関係手続における業務権限について(2/3)

「○」は入力可能者 「-」は
入力不可

業務コード	業務名	照会種別	代表利用者 として登録された者	委託先状況		備考
				乗組員氏名表委託先利用 者 として登録された者	旅客氏名表委託先利用者 として登録された者	
IGD	入出港届等情報照会	入港届情報	○ 代表利用者として登録のある 航空機に対する照会が可能となる。	○ 委託を受けた航空機に対する 照会が可能となる。	○ 委託を受けた航空機に対する 照会が可能となる。	※
		出港届情報	○ 代表利用者として登録のある 航空機に対する照会が可能となる。	○ 委託を受けた航空機に対する 照会が可能となる。	○ 委託を受けた航空機に対する 照会が可能となる。	
		乗組員情報	○ 代表利用者として登録のある 航空機に対する照会が可能となる。	○ 委託を受けた航空機に対する 照会が可能となる。	-	※
		旅客情報	○ 代表利用者として登録のある 航空機に対する照会が可能となる。	-	○ 委託を受けた航空機に対する 照会が可能となる。	※
IGA	検疫前通報情報登録		○ 代表利用者として登録のある 航空機に対する照会が可能となる。	○ 委託を受けた航空機に対する照会が可能となる。		※
ICL	乗組員氏名表報告呼出し		○ 代表利用者として登録のある 航空機に対する照会が可能となる。	○ 委託を受けた航空機に対する 呼出しが可能となる。		※

代表利用者として登録のある航空機: 予め代表利用者として航空会社(便名先頭2桁)及び空港単位に登録され、当該便名2桁及び空港が合致する航空機
委託を受けた航空機: 予め旅客委託者又は乗組員委託者として、航空会社(便名先頭2桁)及び空港単位に登録され、当該便名2桁及び空港が合致する航空機

※: 照会対象の情報登録者はこれに限らず実施可能

「航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告申出書兼 委託先登録依頼書」にて代表利用者コード・委託先利用者コードを登録した場合、NACCSからの呼出業務・照会業務の可否に関しては、以下の通りです。

業務コード	業務名	照会種別	代表利用者 として登録された者	旅客氏名表委託先利用者 として登録された者	備考
PNR01	旅客予約記録情報報告		○	○	※
PNR	旅客予約記録情報呼出し		○	○	※
IPN	旅客予約記録情報照会		○	○	※

※:照会対象の情報登録者はこれに限らず実施可能